

# 「上毛新聞」文芸関連記事リスト【1】

大正10年(1921)8月～大正12年(1923)3月

市川祥子

※「上毛新聞」の中から、小説・詩歌等の創作と、文芸に深く関わりと考えられる評論とをリストアップした。「上毛こども新聞」については投稿以外を対象とした。今回は、日曜文芸欄が開設される大正10年(1921)8月から、大正12年(1923)3月までを対象とした。

※連載は初回のみを記し、(一)に終了日と回数とを付した。  
 ※①は第一面であることを、④は「上毛こども新聞」第一面であることを示す。  
 ※(1)は第一回であることを示す。  
 ※\*は判読が不能であることを示す。

大正10年(1921)8月

- 1日(月)
  - ①般若小町「講談」(1) 旭亭桜山(演)
  - (～翌年7月18日(295))
  - ③八重ちゃんの力「童話」(1) 桃水
  - (～8月4日(4))
  - 2日(火)
  - ③初見参の赤城山へ(1) 中村(～8月5日(4))
  - ④教育即芸術 荒木恭平

- ④海のにいさん、坂路「童謡」 よしを
- ⑤上毛伝説史話(17) お梅御殿(1) 水村
- (～10月28日(75))
- 3日(水)
  - ④夏の夜話(1) 松田竹の島人(～8月31日(16))
  - ④富浦より(1) よしを (～8月6日(4))
  - ④祇園の夜(丁子に)「短歌」 久保田瓜丁
  - ④蟻のひつこし、お寺、からず「童謡」 村田千秋
  - 4日(木)
    - ③青倉校のアルプス登山隊より(1)
    - (～8月9日(4))
    - ④労働争議解決鍵 高橋大蔵大臣(談)
    - ④でゞ虫さん「童謡」 久保田瓜丁
    - 5日(金)
      - ③金の鳩「童話」(1) 鳶雨 (～8月9日(4))
      - ④思想問題対策に就て(1) 原首相(談)
      - (～8月6日(2))
      - ④両性の道 向ふ処に進め 下田次郎(談)
      - 6日(土)
        - ③緑蔭雑話(1) 浜田三峰 (～8月17日(6))
        - 7日(日)
          - ③筑紫の旅(1) 花和白水 (～8月28日(13))

- ④更生の愛「小説」 内村波津吉
- ④少女と白粉「小説」 川辺潤三郎
- ④恋する娘「詩」 水野村吉
- ④最近の感想 与謝野晶子
- ④黎明の歓喜「詩」 久保田瓜丁
- ④折々の歌「短歌」 井田稻生
- ④かたつむり「童謡」 里見治雄
- 9日(火)
  - ④野人の歌「詩」 山口比出路
  - ④恋「詩」 早川春塔
  - ④湯にて「短歌」 吉田草二
  - ④きのこ「詩」 清水邦嗣
  - 10日(水)
    - ④最近の感想 与謝野晶子(談)
    - ④文化主義と印象派主義(1) 登丸栄一
    - (～8月17日(5))
    - ④日曜文芸の創設に就て
    - 11日(木)
      - ③牽牛を盗まれた「童話」 緑葉山人
      - (～8月12日(2))
      - ④太平洋会議と日本 歴史的に見る諸会議の効果 大隈重信(談)
      - ④婦人問題の人的考察 永井柳太郎(談)

- 12日(金) (～8月13日③)
- ④日曜文芸の創設に就て
- ⑤東宮殿下の御帰朝を奉迎の文芸を募る
- 13日(土) (～8月14日②)
- ③抜作の水屋(1) 桃水
- ④日曜文芸の創設に就て
- 14日(日) (～8月17日②)
- ④無為を読む 赤木三吉
- ④郊外雑記 中沢静雄
- ④湯の宿にて 吉田草二
- ④田の草とりの夕「短歌」 菊池水狗
- ④あをぎり「童謡」 苔の花
- ④子ぶどう、こねこ「童謡」 清水邦嗣
- ④街を見ながら
- 16日(火) (～8月17日②)
- ③毒饅頭「童話」(1) 村木緑葉
- ④東宮殿下の御帰朝を奉迎の文芸を募る
- 17日(水) (～8月28日⑨)
- ③地方自治に就て(1) 吉野作造(述)
- ④教育費と軍縮 大隈重信(談)
- 18日(木)
- ③馬の死骸「童話」 小萩
- ④水仙花「詩」 仏蘭西百合訳
- ④思春期の女子と体質上の変化 富士川游
- 19日(金) (～8月21日②)
- ③天使「童話」(1) 孤島
- ③山家虫、虫声滋、虫壳、朝露、旅夕「短歌」 大野泉
- ④開墾事業の急務 全国に於ける二百万町歩の未開墾地を活用せよ 有働良夫(談) (～8月20日②)
- ④今後の婦人 三輪田元道
- ④花妻「小説」(1) 小栗風葉 (～翌年3月8日⑬)(中止)
- 20日(土) (～8月26日③)
- ④湖畔の松「短歌」 磯山零泉
- ④主婦の頭を改造せんとする世帯の会に就き 伊藤文吉
- 21日(日) (～8月28日②)
- ④秋をひかえて 萩原恭次郎
- ④点呼「小説」 長島広吉
- ④芸術の創造性(1) 金子筑水(～8月28日②)
- ④街を見ながら
- 23日(火) (～8月26日③)
- ③悠吉と長太郎「童話」(1) 蔦雨
- ③地平線「小説」(1) 横田桃子 (～11月29日⑬)
- ④労働の歌「短歌」 梅沢竹雄
- 24日(水) (～8月27日③)
- ④霊の改造か肉の改造か 伊藤朝子(談)
- ④広野に咲く色「詩」 梅沢竹雄
- 25日(木) (～8月27日③)
- ④教育平等の施設 財産不平均を救ふ唯一の方途(1) 小林丑三郎(談)
- ④処女会を振興せよ 玉井囑託(談)
- ④折々の歌 磯田零泉
- 26日(金) (～9月22日⑱)
- ④日本海まで(1) 晴
- ④暑さと私「詩」 梅沢竹雄
- 27日(土) (～9月22日⑱)
- ③蕎麦「童話」(1) 孤島 (1)まで確認
- ④再びT子に「短歌」 久保田瓜丁
- ④おしろい花「詩」 苔の花
- 28日(日) (～9月22日⑱)
- ④初秋小景 角田恒
- ④求婚者 二露
- ④嵐 芳太郎
- ④雀「詩」 田中梧葉
- ④蚯蚓、蓮の花ビラ「詩」 里見治雄
- ④まり「詩」 よしを
- ④街を見乍ら
- ⑤待つ宵「歌謡」
- 29日(月) (～9月22日⑱)
- ③伏猪の床「歌謡」
- 30日(火) (～9月22日⑱)
- ④若い教師 徳江孝三郎
- ⑥相馬大作「講談」(1) 錦城齊典山(演) (～翌年2月24日⑯)
- 31日(水) (～9月22日⑱)
- ③稲荷大明神「童話」(1) 緑葉
- ④その時の言葉、朝の祈り「詩」 よしろう
- ④街を見乍ら 中村芳太郎

大正10年(1921)9月

2日(金)

③御帰朝を奉祝「歌謡」 岡部栄信

④卓上独語 上田えいじ

④赤いくつ、露、夜「詩」 岩井八郎

3日(土)

③奉祝御還啓「漢詩」 金井貢、関茂

③にせがね「童話」(1) 小萩(9月4日)(2)

④殿下御聡明の発露 下田歌子(談)

④皇室と人民との御接触 山脇房子(談)

4日(日)

③奉迎文芸「短歌」 須藤泰一郎、狩野雄俊、

塩野澄一、狩野登、大野泉、高橋田鶴子、

田中宗雄、戸所二郎、石曾根市郎、鈴木章

舟、富田なかじ、青木牧太、石井新助、奥

山陽、内川きわ子、「俳句」 穂積亀吉、小

暮近、石曾根市郎、逸名氏、奥山陽、茂木

二三、立川豊吉、高橋清、狩野作次郎、原

島喜作、長岡城花、石井新助、栗原喜作、

小島新八、茂木一作、須田幸介、池田清流、

山内いつ、鈴木百一郎、加藤桂月、伊与久

義平治、横木幾八、山内半之助、小野遊雲、

戸所二郎、佐藤宝湖、伊与久央治、高橋田

鶴子、佐藤岩国、荒井紀子、関口七太郎、

藤井茂登一

④無職者の笑ひ 倉洞鉄平

④松ちやんと私 浩星

④イブセンと両性問題(1) 島村民蔵

〈(1)まで確認〉

④夏の日暮「詩」 上田えいじ

④海を慕ふ、もろこし畑にて「詩」 高橋仁

太郎

④猫「短歌」 板井露子

④とんぼ「詩」 堀込星川

④街を見乍ら 芳

6日(火)

③庄吉地蔵の話「童話」(1) 水野光一

③日本の要求 中村進午(談)

④教師となつて「小説」(1) 塚越麗一

④子供の奉迎 利根郡池田小学校高一 斉藤

波津恵、群馬郡国府小学校尋六 矢島竹子、

前橋市桃井小学校尋五 片桐勝司、新田郡島

之郷小学校尋六 近藤トク

⑤東宮奉迎「短歌」 香雨老人

7日(水)

③赤城登山漫筆 禿老人

④せんみさん「詩」 苔の花

④東宮御帰朝を期として全国青年団の奮励を

望む(1) 高島平三郎(談) (9月8日)(2)

8日(木)

③其の後の兎(1) 蔦雨

④おひきがへる「詩」 清水邦嗣

10日(土)

④農村青年の近代的傾向 憂ふべき自然主義

の風潮(1) 伊藤証信(談) (9月13日)(2)

④地剝社詠草「短歌」(2) 磯白零泉、田口白

無、大堀花穂、久保田瓜丁、羽鳥辰之助、

かすひ、菊池水狗

④物価調節と家庭婦人(2) 伊藤文吉(談)

〈(2)から確認〉

11日(日)

③居眠り爺さん「童話」(1) 河原森月

④人間としての釈迦 白石実三

④地剝社明星社合同歌会詠草「短歌」 大堀

花穂、須永笹舟、掛川英太郎、勅使河原訂

星、金井漣月、掛川碧穂、羽鳥辰之助、内

田すみ江、羽鳥武叫、川端己智代、川端玉

泉、須田三畏、野口市郎、田島夕陽、玉村

野吾、富田晩葉、井田栄一郎、久保田瓜丁、

菊池水狗、天田孤雀、梅沢露草、矢嶋白樹

13日(火)

④船の世界 小沢正

14日(水)

③太郎助と次郎助「童話」(1) 沢田章三

③歴史や文芸に現はれたる月と詩と 天文学

上からの考察 河合天文台技手(談)

④人間愛の意義(1) 平塚雷鳥(談)

④つばめ、郵便箱、デッ虫さん「詩」 清水

邦嗣

15日(木)

④失望より祈りへ 田川大吉郎(談)

④星影「詩」 蚕試田夫

16日(金)

③ 国立公園の本質(1) 田村剛(講演)

(～9月27日(7))

④ 恋の破産、豊年踊、絵かき「詩」 雨小路  
毒二

④ 秋の夜「詩」 蚕試田夫

17日(土)

③ 菓子の国「童話」(1) 小萩(～9月18日(2))

④ 中流家庭と生活難(1) 守屋文夫(談)

(～9月20日(3))

④ 名歌手カルソーに就いての憶出(1) 内田魯  
庵 (～9月20日(2))

18日(日)

④ 赤城山 須藤泰一郎

④ 文壇の空気 吉田絃二郎

④ 新居雑詠 片瀬より「短歌」 吉井勇

④ 饒語 高橋朱春

④ 暁の烟「短歌」 羽鳥武重

④ 秋が来たとして「詩」 水野村吉

④ 街を見乍ら 芳

20日(火)

④ 涙「童話」 清水

21日(水)

③ 星の頸飾「童話」(1) 橘秀子

(～9月27日(4))

④ 本年稲の作柄と農業諸問題(1) 安藤農学博  
士(談) (～9月23日(3))まで確認④ 美術通俗講義 画と愛画家 美術と宗教 床  
の間の歴史(1) 竹内少霞(講述)

22日(木)

(～9月23日(3))まで確認

④ 赤城の初秋「短歌」 下田米八

④ ホホツキ、小鳥「歌謡」 りう次

④ 出不精な日本婦人 真壁光子

23日(金)

④ 女中の欠乏と待遇改善(1) 太田秀穂(談)

(～9月27日(3))

④ 米国の離婚増加 増加せる日本の離婚率(1)  
市川源三(談) (1)まで確認

25日(日)

④ 離りし妹に「短歌」 伊藤鈴子

④ 雨晴の朝「短歌」 久保田良平

④ 町の乙女「短歌」 羽鳥秋歌

④ 昼の光「短歌」 宮川白葉

④ 雨のお家「詩」 小嶋真六

④ ドロく馬車「詩」 野中定雄

④ 小さき囁き「短歌」 大竹好太郎

④ 鳥よ啼け「短歌」 谷よし子

④ 潮流「短歌」 金井保一郎、田嶋夕陽、富  
田晩葉、川端苦叫、金井さわ子、井田栄一郎、田嶋一江、勅使河原花山、川端己智代、  
内田寿美栄、酒井焼二

④ 六兵衛と鳥「童話」 河原侃二

④ 月の河原「短歌」 前田一郎

④ 赤城嶺「短歌」 金井弥吉

④ 折々の歌 忍冬花兄に「短歌」 井田稻生

④ 停留場の女「短歌」 比佐緒

④ 時々の歌「短歌」 大堀勘衛

④ 若くありたり「短歌」 川田不美男

④ 夏やせ「短歌」 須田三畏

④ 利根川「短歌」 野口鶯洞

④ 鳥、自動車「詩」 高橋朱春

④ 蟻、栗「詩」 里見治雄

④ お月見、堤燈や、兔の餅「詩」 清水邦嗣

④ 朝顔「詩」 苔の花

④ 山羊さん「詩」 村田千秋

④ 隣家の妻「短歌」 須藤泰一郎

④ 白ねずみ「詩」 かほる

④ 犬「詩」 堀込星川

④ うま、星「詩」 岩井八郎

27日(火)

④ 地方から東京へ 求職者の激増と新傾 安  
田亀一(談)

28日(水)

③ 星娘「童話」 竹貫佳水

④ いらぬ悩み「詩」 清水久栄

④ 日支親善の根本 塩谷温(談)

29日(木)

③ 女神と真赤な花「童話」(1) 水野光一

(～10月1日(2))

④ 黙禱「詩」 佐々木白葉

④ 追憶は悲し「詩」 清水久策

30日(金)

④ 近日雑感(1) 赤木三吉

大正10年(1921)10月 (～10月4日(3))

1日(土)

④ 宗教信念の欠乏 子女の教育に悪傾向(1)

- 高島平三郎(談) (～10月6日(4))
- 4日(火)
- ③夢の飛行機「童話」(2) 緑葉 (～10月6日(3)) (2)から確認
- ③御起居如何に 北甘女学校 斉藤まさ
- ④小作問題の解決(1) 横井時敬(談) (～10月8日(5))
- 5日(水)
- ④美術院の作評(1) 竹内少霞(講述) (～10月6日(2))
- 6日(木)
- ③秋来るらし 北甘女学校 大河原とせ
- 7日(金)
- ③雨の晴れ間 北甘女学校 本多稲子
- ③鈴子さんの花束「童話」(1) 河原森月 (～10月9日(3))
- ④時代と農業(1) 橋本佐左衛門(述) (～10月18日(2))
- ④鉦の音(1) 梅沢竹雄 (～10月8日(2))
- ⑤左官から俳人になった惺庵西馬 矢島天来(談)
- 8日(土)
- ③浜えんどうの夢 北甘女学校 加藤久栄
- ⑤前橋高女校の関西の旅より(1) 市川芳 (～10月13日(6))
- 9日(日)
- ④風窓草語 南三四郎
- ④病める言葉 根本亡羊
- ④恋を恋する男 小野清三
- ④雨の日に りう次
- ④破れた恋「詩」 水野村吉
- ④閨魔帳 河原侃二
- ④無題「詩」 阿部平寿
- ④地上「詩」 佐々木白葉
- ④霧雨「詩」 牛目棕平
- ④此の頃の歌「短歌」 久保田菱萍
- ④秋の歌「短歌」 井田稲生
- 12日(水)
- ③即興二題「短歌」 福田和五郎
- ③休暇中の或日(2) 北甘女学校 岩井きぬ (～10月13日(3)) (2)から確認
- ④苦悩の三日間(2) 徳江亥之助 (～10月13日(3)) (2)から確認
- ④霖雨籠居「短歌」 窪田忍冬花
- ④お詣り「詩」 苔の花
- ⑤日本人は自覚が無い 教育の施設が根本に 触れて居ない 先づ自分自身を知れ 福田和五郎(談)
- 13日(木)
- ③秋虫と蟬「童話」(2) 橋秀子 (～10月16日(4)) (2)から確認
- 14日(金)
- ③私は蚕である 北甘女学校 上原マス
- ④ある夜「小説」(1) 柴田新一 (～10月21日(3))
- ⑤前橋高女校 旅の印象(1) 市川芳子 (～10月19日(3))
- 16日(日)
- ③三ツの生活 西田天香(談)
- ③秋の夕 北甘女学校 茂木とみ
- ④精神文明の潮流 島田倭
- ④幌馬車の旅 長嶋健司
- ④恐る可き、無題「詩」 根本亡羊
- ④手前勝手な男に「詩」 阿部平寿
- ④さびしむ心「詩」 戸井田吉夫
- ④いたましき満足「詩」 中村芳太郎
- ④たより 久々にて設楽兄に「短歌」 大竹好太郎
- ④自画像「短歌」 大槻三好
- 19日(水)
- ③柿の実「童話」(1) 河原森月 (1)まで確認
- ③こほろぎの音 北甘女学校 岩井きく
- ④軍備の制限と日本労働者 鈴木文治(談)
- 20日(木)
- ④享楽本意の結婚を排す 産児率が低下体質が悪化 杉田直樹(談)
- ④秋のうた「短歌」 下田弥生
- 21日(金)
- ③幸吉と托鉢「童話」(1) 田中梧葉 (～10月26日(4))
- ③思出で 北甘女学校 上原たま子
- ④帝展の印象(1) 竹内少霞 (～10月26日(4))
- 22日(土)
- ③日記中の一節より(1) 北甘女学校 矢嶋うめ子 (～10月23日(2))
- ④低落的生活改善(1) 内田魯庵(談)

- ④ふるさとの山 六本木政男  
 23日(日) (～10月26日(3))
- ④第二ルネサンス 雨小路毒二  
 ④小さき異性の友へ 二葉女  
 ④或る女「詩」 阿部平寿  
 ④孤独者の歌へる、秋の小曲「詩」 上田えいじ
- ④鬼の声「短歌」 羽鳥秋歌  
 ④病床雑感「短歌」 大竹一人  
 ④秋の小唄「短歌」 三木羊一  
 ④栗「詩」 かほる  
 ④運動会「詩」 清水邦嗣  
 ④街を見乍ら 芳太郎  
 26日(水)  
 ③花瓶 北甘高女一年生 佐々木ひで子  
 ④大国民の襟度を示せ(1) 永田秀次郎(談)  
 (～10月29日(4))  
 ④小さい会社「小説」(1) 大橋松翠  
 (～10月28日(3))
- 27日(木)  
 ③コホロギ「童話」 木田鉄太郎  
 ③習慣 岡中学校 笠原久雄  
 ④人種改善と遺伝 永井潜(談)  
 ④雨中筆録 与謝野晶子  
 28日(金)  
 ③鳩のお家「童話」(1) 沢井章三  
 (～10月29日(2))  
 ③秋のうた「短歌」 富岡中学校 堀川一郎
- ④童謡を中心として(1) 森銚三  
 (～11月5日(5))  
 ④楓樹の色々(1) 松田竹の島人  
 (～11月3日(4))  
 29日(土)  
 ③原富の新歌 富岡新曲、富岡節糸線唄  
 ③山深く入る 富岡中学校 今井万平  
 ④旅立つ前夜(1) 葉子  
 (～11月2日(2))  
 30日(日)  
 ④厨房独語 正木中枝  
 ④沈黙 南城涼子  
 ④火の性「短歌」 与謝野晶子  
 ④雨の日に「小説」 すみえ  
 ④淡き悲しみ「詩」 浅田文子  
 ④閉ぢ得ぬ眸「詩」 藤園香里  
 ④友の母をみとりて、この頃のわれ「短歌」 登丸玉子  
 ④白き花「短歌」 浜みよ子  
 ④蠅の群「短歌」 二葉女  
 ④街を見乍ら 芳太郎  
 ⑤上毛美人伝(1) 菊人形(1) 水村  
 (～12月27日(5)まで確認)
- 大正10年(1921)11月  
 2日(水)  
 ③農家の四季 北甘高女二年生 横尾まさ  
 ③探秋色 妙義登山記(1) 高畑  
 (～11月12日(6))  
 ③山雀と雀「童話」(1) 田中梧葉  
 (～11月3日(2))
- ④個人と職業(1) 高峰博(談)(～11月5日(4))  
 3日(木)  
 ③病床なる友に 北甘高女一年生 小林直子  
 ④日光から「短歌」 小夜子  
 4日(金)  
 ③砂山の十字架「童話」(1) 沢山章三  
 (～11月6日(2))  
 ③忙しき一日 北甘高女一年生 佐俣まさ  
 ④児童保護法の家庭的注意(1) 生江孝之(談)  
 (～11月8日(3))  
 ④晩秋の昼「短歌」 富久田久夫  
 6日(日)  
 ③南洋の日本婦人 菅原千代子夫人  
 ③秋の夕暮 北甘高女三年生 田村らん  
 ④ウパニシヤツド私見 根本七羊  
 ④凡そ何でも 登丸栄一  
 ④祭の朝 中村芳太郎  
 ④Kの手紙 柳田紅村  
 ④蜘蛛、あらし、こひの焰「詩」 雨小路毒二
- ④地平線の夜「詩」 阿部平寿  
 ④水色の御殿、月見草「詩」 牛口善衛  
 ④旅をして「短歌」 大竹好太郎  
 ④秋来詠「短歌」 上田えいじ  
 ④アカシヤ「短歌」 佐々木白葉  
 ④雑詠「短歌」 勅使河原汀星  
 ④塗朱余録 水村  
 8日(火)  
 ③アベコベ学校「童話」(1) 小萩

- ③ 或る日の夕べ 北甘高女二年生 馬場芳枝  
 ④ 農村と社会問題(1) 森田謙三郎  
 (〓11月11日(3))
- 9日(水)  
 ③ 車中にて 北甘高女四年生 鶴田寿美子  
 ④ 栗、お月さま、町の雀「詩」 村田千秋  
 ④ 家庭の民衆的改造(1) 広井辰太郎(談)  
 (〓11月10日(2))
- 11日(金)  
 ④ 子を失ふて「短歌」 としを  
 ④ 秋「短歌」 富田秀雄  
 12日(土)  
 ③ 山の叔父さん「童話」(1) 木田鉄太郎  
 (〓11月13日(2))
- ③ 旅行日記(1) 北甘高女四年生 本多和子  
 (〓11月19日(5))
- 13日(日)  
 ② 本当に理解のある母としての責任を自覚する事に依つて婦人の位置を昂め得る 西崎綾乃子
- ④ 遠く離れて 川辺潤三郎  
 ④ 夢遊病者の詩 阿部平寿  
 ④ 娘をたづねる老人 富貴子  
 ④ 無事ですか？ 白水兄に 田中梧葉  
 ④ 秋海棠「詩」 小林つねを  
 ④ 秋昼の田園、月の出「詩」 上田えいじ  
 ④ 痛ましい命「詩」 畑緋露路  
 ④ 烏、コスモス「詩」 里見はるを
- ④ 雨「詩」 かをる  
 ④ 渡鳥「詩」 村田千秋  
 ④ あわ雪「詩」 柴田新一  
 ④ 秋深み「短歌」 野口鶯洞  
 ④ 秋愁「短歌」 井田稻生  
 ④ 恋「短歌」 紫乃武影二  
 ④ 友の霊に「短歌」 羽鳥武重  
 ④ こぼろぎ「短歌」 金井弥吉  
 ④ 病床吟「短歌」 大竹一人  
 ④ 地蔵獄「短歌」 塚越麗一  
 ④ 大根の芽「短歌」 須永笹舟  
 ④ 街を見乍ら 芳太郎  
 16日(水)  
 ③ 此手は誰の手「童話」(1) 緑葉  
 (〓11月18日(3))
- ④ 余芳「短歌」 中山、神保登楽、山村春香、田中宗雄、長岡城花、水谷真教、金子恵七、小暮良丸  
 17日(木)  
 ④ 趣味としての写真 三宅克己(談)  
 18日(金)  
 ④ 賄賂物語(1) 松田竹の島人(〓11月26日(6))  
 ④ 性教育に就いて(1) 市川源三郎(談)  
 (〓11月21日(3))
- 19日(土)  
 ③ 親指トム「童話」(1) 橋南居士  
 (〓11月26日(4))  
 ④ 築地の家(1) 浮思井光映 (〓12月9日(13))  
 20日(日)
- ④ 小猫「童謡」 佐竹草迷宮  
 22日(火)  
 ③ 旅行日記(1) 北甘高女補習科 岩井きく  
 (〓11月29日(4)まで確認)  
 ④ 今年は初獵失敗(1) 小田律(〓11月23日(2))  
 23日(水)  
 ④ 人道と虐待心理(1) 広井辰太郎(談)  
 (〓11月23日(3))
- 25日(金)  
 ④ 嫁を憎む姑の心理 高島平三郎(談)  
 27日(日)  
 ③ べびちゃん「童謡」 佐竹草迷宮  
 ④ 或る日のエピソード 吾妻京子  
 ④ 弟のくり言 大木雄三  
 ④ 這よる秋、歩行する「詩」 阿部平寿  
 ④ 化学分析室から 紺屋の丁稚  
 ④ 帰り 二葉  
 ④ きく、山「詩」 榎田かをる  
 ④ もみぢ「詩」 伊藤芳枝  
 ④ 入営の日近づく 久保田瓜丁君に「短歌」 菊池水狗
- ④ 欧州に渡る前「短歌」 原三郎  
 ④ 山の歌「短歌」 吉田緑泉  
 ④ ふるさと「短歌」 大竹好太郎  
 29日(火)  
 ③ 花屋のお婆さん「童話」 若林花子  
 ④ 恋の原さん(1) 松田竹の島人  
 (〓12月6日(5))

④遠火事「短歌」 野口市郎  
大正10年(1921)12月

2日(金)

③番兵木兎「童話」(1) 小萩(12月3日(2))

③旅行日記(6) 北甘高女四年生 神部ふひ

(12月7日(9))

③岡田先生を悼む(1) 藤井幸水

(12月3日(2))

④国民の警察的自覚(1) 松井茂談

(12月6日(3))

④娯楽の少い日本の家庭 新渡戸博士談

4日(日)

③桐の葉「詩」 佐竹草迷宮

④赤い灯の列車 赤城桐村

④彼れ 南城涼子

④金冠「詩」 阿部平寿

④俳人 中島茂平

④病床雑詠「短歌」 大竹一人

④赤城嶺「短歌」 野口鶯洞

6日(火)

③餓鬼大将「童話」 木田鉄太郎

④貞操の自由(1) 三宅雄二郎(談)

(12月13日(3))

7日(水)

③底なし樽「童話」 河原森月

8日(木)

③転んでいった手鞠「童話」 水野光一

③旅行日記(1) 北甘高女補習生 茂木とみ

(12月14日(2))

④炉辺閑話(1) 松田 (12月13日(4))

9日(金)

③一つの林檎「童話」(1) 河原森月

(1)まで確認

④軽便な下着の改良 鳩山春子(談)

10日(土)

④或る女の父(1) 大橋松翠 (12月20日(3))

④平和と輿論(1) 添田寿一(談)

11日(日) (12月13日(2))

③お月さま幾つ「詩」 佐竹草迷宮

③現代女性批判 見て貰いたい気 青柳有美

④不眠病者より 中村芳太郎

④たくらみ「小説」 川辺潤三郎

④保津川の流れ、大成丸を送りて「詩」 戸

井田吉夫

④墓参 根岸時雍

④首都を思ふ 大木雄三氏へ 根本

④暗き地平に「詩」 吉原白蓮

④明星「詩」 南雲ひめじ

④今年の願ひ「詩」 吾妻京子

④栗鼠、雀「詩」 堀込星川

④秋「短歌」 阿部平寿

④朝づく日「短歌」 須田三畏

④茶の花「短歌」 野口市郎

④幼き日の友に「短歌」 斉藤野の花

④街を見乍ら 芳

14日(水)

③はまよちゃん和小猫「童話」 田中梧葉

③女の職業 小田律

④産業転換の急務 軍備縮小と失業者問題

武藤七郎(談)

④指紋の話 小田律

15日(木)

④処女婦人のため黄金万能主義を排す 長瀬

鳳輔(談)

④平等は愛教育は個別的 与謝野晶子

16日(金)

③かへらぬ鳥「童話」(1) 河原森月

17日(土) (12月17日(2))

④小作問題解決策 小作料引下と地租の軽減

中山佐市(談)

18日(日)

③隣の話 加藤武雄

③飛行機「詩」 佐竹草迷宮

③閨秀芸術家の権威 音楽家鈴木信子女史

③現代女性批判 人目を惹きたい 青柳有美

④犯火放人 登丸玉子

④陶酔 名無草

④浴室「短歌」 篠原隆子

④長屋の出来事 二葉

④姑を守りつゝ「短歌」 須藤紫茂子

④蒼空のもとに「短歌」 高橋はつ江

④お月さま「詩」 伊藤芳枝

④雨夜「詩」 牛目棕平

④水車「童謡」 萩塚英雄

④兎「童謡」 真砂夏造

- ④つばめ「童謡」 高橋ます  
 ④犬ころ「童謡」 藪塚つた  
 ④川の水「童謡」 陣内主一  
 ④がん「童謡」 本多亥之介  
 ④上毛新聞「童謡」 堀込星川  
 ④余録 水  
 20日(火)  
 ④顧みられざる児童保護問題(1) 田子一民  
 (談) (12月21日(2))
- 21日(水)  
 ③金は儲かる 小田律  
 ③飛行将校「童話」(1) 水野光一  
 (12月22日(2))  
 ③寂光の径(1) 楳本まさを (12月27日(5))  
 ④童謡中心として 東宮七男  
 ④掠奪した女(1) 田中貢太郎 (翌年1月7日(5))
- 22日(木)  
 ④性能検査より見た児童職業選択(1) 久保良英(談) (12月24日(3))  
 ④性欲と二食主義 高橋玉蔵(談)  
 23日(金)  
 ③葡萄パンの御話「童話」(1) 遠藤紫紅 (12月27日(3))
- 24日(土)  
 ④映画劇に就いて 映画研究会にて(1) 中村吉蔵(述) (12月27日(2))  
 25日(日)  
 ④闊秀芸術家の権威 歌人高安やす子夫人
- ④現代女性批判 若い女性の志望 青柳有美  
 ④落葉の踊り「詩」 佐竹草迷宮  
 27日(火)  
 ④生物生存と本能(1) 戸沢富寿(談) (1)まで確認  
 28日(水)  
 ③哀れな兄弟「童話」 水野光一  
 大正11年(1922)1月  
 1日(日)  
 ②(かつらぎの)「短歌」 田山花袋  
 ③聖朝雅頌「漢詩」 関周南、木暮禎、星野龜雄、林庸太郎、金井貢  
 ⑤新文化の創造と日本国民の使命 大隈重信(談)  
 ⑤俺は俺の為に生き様と自律主義の流行 中島徳蔵(談)  
 ⑥春昼「小説」 久米正雄  
 ⑥幽霊屋敷 残酷な争闘の音 水野葉舟  
 ⑥小説家の冬籠り  
 ⑦赤城山、山の宿、鳥居峠「短歌」 須藤泰一郎  
 ⑦霜夜地震「短歌」 窪田泰二  
 ⑦常夏の国より「短歌」 伊藤鈴子  
 ⑦冬の音づれ「短歌」 野口市郎  
 ⑦反逆の星ある都会病患者の幻想 山崎晴治  
 ⑦白石氏と鬼城氏 浦野芳雄  
 ⑦短篇、天の仮面 美しき娘の寄せたる「詩」 阿部平寿
- ⑦淋しき微笑 赤城桐村  
 ⑦影と踊る 中村芳太郎  
 ⑦余録 水村  
 ⑩犬の智恵「童話」 吉岡淡水  
 ⑪新婚飛行「落語」 春風亭川柳(演)  
 ⑬家庭婦人の生活 山田わか  
 ⑬台所向と世帯会に就て 甫守ふみ  
 ⑰春興鳥追姿 新春の名物 水村  
 ⑳獣の新年会「童話」 花園山人  
 3日(火)  
 ②文化生活の建設 丹沢美助(談)  
 ②(一力の)「俳句」 小山内薫  
 ②旭光照波「短歌」 文廻屋、清水吟爾  
 5日(木)  
 ③犬の話(1) 荒川浩 (1月7日(2))  
 ③聖朝雅頌「俳句」 小茂田青水、清水松華  
 ③天下一品「童話」(1) 小川未明 (1月13日(5))  
 ④梅にも春「小説」(2) 上司小剣 (2)から確認  
 ④(小曲こひしきに) 室生犀星  
 ④泪をたどる「短歌」 植村祐三  
 ④新年「短歌」 野口市郎  
 ④聖朝雅頌「短歌」 堀口薫治、高橋永吉、同田鶴子、同紀子、同愛子、同秀子、清水歌子  
 ⑤農業の実地指導に就て 久保貞次郎(談)  
 ⑤御題「俳句」「短歌」 香雨老人  
 7日(土)

- ③伊勢より〔俳句〕 武藤金吉  
 ③聖朝雅頌〔漢詩〕 土屋一郎、進藤香軒、増田塵外  
 ③聖朝雅頌〔短歌〕 印東福、大竹彦治、大野泉、山田風外、戸所二、よしみ  
 ④童謡と教育と 一部の人に与ふ 森銃三  
 ⑤南洋の新年(1) 加藤朝鳥 (1月12日(5)8日(日))  
 ③ち切れ風〔童話〕 川路柳虹  
 ③新時代の女子教育 技芸方面は衰退 塚本 はま子  
 ④女性に味方して 雨小路毒二  
 ④少年と風〔小説〕 松田徳治  
 ④晩秋語独〔詩〕 山口傷々花  
 ④初日出〔詩〕 TS  
 ④日記より〔短歌〕 大竹好太郎  
 ④駿河の海〔短歌〕 緋紗緒  
 ④夕靄〔短歌〕 隆子  
 ⑤旭光照波〔漢詩〕 松村琴荘  
 ⑤上毛美人伝(2) 恋の犬獅子(1) 水村 (1月11日(78))  
 11日(水)  
 ④木犀の香〔小説〕(1) 東宮七男 (1月14日(4))  
 12日(木)  
 ④文壇の現状(1) 加能作次郎 (1月13日(2))  
 13日(金)  
 ③外套泥棒(1)〔小説〕 沢田撫松 (1月24日(6))
- 14日(土)  
 ③新時代の女子教育を如何にす可き乎 時世 につれて何事も余り目立たぬやうに 小林 盈  
 ③現代女性批判 止むを得ざるの独身 青柳 有美  
 ③百足船〔童話〕 横田桃水  
 ④現代の児童問題 高島平三郎(談) (1月18日(3))  
 ④放火罪人 登丸玉子さんへ、赤い信号手、或る言葉〔詩〕 雨小路毒二  
 ④風狂ふ夕暮れ〔短歌〕 小林徳太郎 15日(日)  
 ④鉄路感 長島健司  
 ④自分と他人 根本亡羊  
 ④小品断片、即興短篇〔詩〕 阿部平寿  
 ④初信 芳太郎  
 17日(火)  
 ③はらから〔小説〕(1) 松村梢風 (1月14日(5))  
 ③王様と旅人〔童話〕(1) 河原侃二 (1月19日(3))  
 ③見舞の御礼 沼田実女二 織田沢光江  
 ④利根川スケッチ(1) 浦野芳雄 (1月18日(2))  
 ④蠟燭の灯〔小説〕(1) 仲木貞一 (1月24日(6))  
 18日(水)  
 ③病める従妹 沼田実女二 貝瀬ふみ江
- 19日(木)  
 ③祖母の病氣 沼田実女二 榎山とみ  
 ④子供の作る文芸(1) 土屋敏雄 (1月20日(2))  
 ④童謡と子供 或先生との対話 森銃三  
 20日(金)  
 ④革新期に立てる現代女子教育(1) 三輪田玄 道(談) (1月26日(4))  
 ④折にふれて〔短歌〕 永井赤城 21日(土)  
 ③沼の魔物(1)〔童話〕 水野光一 (1月22日(2))  
 ③友達に近況を 沼田実女二 田野けい  
 ④芸術としての童謡 吉田緑泉  
 ④俺が村の開発 原稿募集  
 ④姉の病〔小説〕(1) 春流 (1月22日(2)) 22日(日)  
 ③女学生の素行に就て 岸辺福雄  
 ③豚の散歩〔詩〕 佐竹草迷宮  
 ③大人の娘 ドイツの昔噺 水野葉舟  
 ③先生の御許へ 沼田実女二 深代みち  
 ④駅の玻璃戸 羽鳥秋歌  
 ④親なし駅〔小説〕 大竹好太郎  
 ④三毛ねこ〔詩〕 薫風  
 ④仔鼠の詩〔詩〕 牛目棕平 24日(火)  
 ③お寺の釣鐘〔童話〕(1) 水野光一 (1月26日(2))  
 ④芸術家の妻として(1) 鏑木照子(談)

- ④正しい芝居の見方(1) 小山内薫(談) (1月26日(3))
- ④水仙「短歌」 野口鶯洞 (1月28日(4))
- ④俺が村の開発 原稿募集 25日(水)
- ④或夜の盗人(1) 中島茂平 (1月26日(2))
- 26日(木)
- ③自主自立青年団に就て(1) 三島章造 (1月28日(3))
- ③故里の友江 沼田実女二 岡田とき (1月31日(3))
- 27日(金)
- ③魔術の幸吉「童話」 中山雪枝
- ③親しき友に 沼田実女二 小淵まつ
- ④国民の法律的自覚 法の腕の見事さを反省せよ 穂積重遠(談)
- ④小児の保育と保護 吉岡弥生(談) (1月31日(3))
- ④古い日記から 巨勢浪次 28日(土)
- ③武雄さんと鬼「童話」(1) 大竹好太郎 (1月31日(2))
- ③病める姉に 沼田実女二 金井勝子
- ③勅題賦得旭光照波「漢詩」 中島琴城
- ③清正と茶碗「講談」(1) 松井青々 (2月4日(3))
- ④文化に伴ふ家庭生活の改善 主婦の自覚を喚起す 末広重雄(談) (2月1日(3))
- 29日(日)
- ③都に來た鶯「童話」 川路柳虹
- ③鼻の勤行「詩」 佐竹草迷宮
- ④風窓草語 南三四郎
- ④朝の感想より 根本
- ④生の断末期、断片「詩」 阿部平寿
- ④印度洋上より 原三郎
- ④折々の歌「短歌」 以佐武
- ④流るゝ星「短歌」 羽鳥秋歌
- ④風の日「短歌」 須田三畏
- ④旧作より「短歌」 稚子
- ④日記より「短歌」 武浜灯
- ④烏「詩」 南雲ひめじ
- ④夕の雪「詩」 芳太郎 31日(火)
- ③懐しき姉上に 沼田実女二 割田きよ
- ④婦人の力(1) 渡辺鉄蔵(談) (2月1日(2))
- 大正11年(1922) 2月 1日(水)
- ③度忘れ狸々「童話」 緑葉
- ③都の友へ 沼田実女二 桑原きよ
- ④歡樂と罪惡の巷夜の浅草印象記(1) 赤毛 布 (2月4日(3))
- 2日(木)
- ③蜂吉蜂五郎「童話」(1) 木田鉄太郎 (2月3日(2))
- ③南国の友へ 沼田実女二 桑原ふく
- ④将来の国民詩(1) 荻原井泉水 (2月3日(2))
- ④男女の優劣と夫婦の愛 野田義夫(談) (2月3日(2))
- 3日(金)
- ③親しき友に 二学年 星野晴江
- ④永遠の友よ(1) 外山溪里 (2月4日(2))
- 4日(土)
- ③名流婦人講座 女子に必要な教育と自覚 山脇房子
- ③騎手の失敗「詩」 佐竹草迷宮
- ③親しき友へ 沼田実女二 根岸茂利
- ④婦人労働新社会(1) 山田わか (2月8日(3))
- ④坂町にて(1) 小山内薫 (2月8日(3))
- ④俺が村の開発 原稿募集 5日(日)
- ④空しく歎く群 雨小路毒二
- ④別離の友へ「短歌」 野口市郎
- ④妻と子に「短歌」 伊藤鈴子 7日(火)
- ③ペロリ先生「童話」 宮地嘉六
- ④郷里の祖父へ 沼田実女二 斉藤富子
- ④罪と惡の不調和(1) 寺田精一 (2月9日(3))
- ④幻滅の世界より 二葉 8日(水)
- ③若い松の木の望み「童話」(1) 中島狐島 (2月11日(3))
- ③曠野「小説」(1) 荒木滋子 (2月11日(3))
- ④世界中で一番死産の多い日本 岡田道一
- ④檀原神宮 水島爾保布 9日(木)

- ③ 女子の体育に就て 忽諾に附せられた重要問題 引田隆太郎(談) (〜2月11日(2))
- ③ 出産を叔母へ 沼田実女二 山本せん
- ④ 人類友愛の意義 吉田熊次
- ④ 日記から(1) 葛西善藏 (〜2月11日(2))
- 10日(金)
- ④ 家庭と婦人 主婦としての自己を知れ 山脇房子 (〜2月15日(3))
- 11日(土)
- ③ 親しき友に 沼田実女二 片山つる
- ④ 農村問題の解決と金融 安東友哉
- 14日(火)
- ② 俺が村の開発(1) 田も作れ詩も作れ 島田三千歳
- ③ 夢、古文真実 加藤武雄
- ③ 異郷の友へ 沼田実女二 片野千代
- ④ 女土官「小説」(1) 吉田緑泉 (〜2月16日(2))
- 15日(水)
- ② 俺が村の開発(2) 訴訟沙汰を罷めよ 追頁 涙光
- 16日(木)
- ② 俺が村の開発(3) 養鶏組合を作りて 松峰
- ③ 天狗腹切の岩「童話」(1) 木田鉄太郎 (〜2月17日(2))
- ③ 異郷の友へ 沼田実女二 植栗喜久
- ④ 米国より帰って(1) 渋沢栄一 (〜2月18日(3))
- 17日(金)
- ③ 親しき友へ 沼田実女二 渡辺さく 18日(土)
- ② 俺が村の開発(4) 文弱に流れぬ様に 石田 庄平
- ③ 底無し沼「童話」(1) 竹貫佳水 (〜2月22日(4))
- ③ 他郷の方々へ(1) 沼田実女二 金子梅子 (〜2月21日(3))
- 19日(日)
- ② 俺が村の開発(5) 理想郷を現出する 時の政 府に従ひて 李助
- ③ 現代女性の批判 婦人と嫉妬心 青柳有美
- ③ 神の世界「詩」 佐竹草迷宮
- ④ \* \* \* \* 「戯曲」 \* \* \* 倭
- ④ 「小さな星」から 雨小路毒二
- ④ 泥棒と乞食の対話「小説」 根本七羊
- ④ 蒼空集 大空、雪、愛、童謡二つ「詩」 霜 田羊吉
- ④ 職工の群に入りて「詩」 戸井田吉夫
- ④ 街を見乍ら 芳太郎
- 20日(月)
- ② 俺が村の開発(6) 人が必要金が必要 青園 居士
- 21日(月)
- ② 俺が村の開発(7) 電力応用の設備 憂村
- ④ 個人生活から社会生活へ 安井哲子 (〜2月22日(3))
- ④ 室田十善会選句 二月例会より「俳句」 古 竹、逸朗、松月、心泉、鳥水、茂子、松華
- 22日(水)
- ② 俺が村の開発(8) 悪畜種家の撲滅 中老
- ③ 気候の御見舞 沼田実女二 小林初枝
- 23日(木)
- ② 俺が村の開発(9) 青年を中心にて 胡蝶
- ③ やまびこ爺さん「童話」 茂木実
- ④ 婦人尊重の意義(1) 永田秀次郎 (〜2月24日(2))
- 24日(金)
- ③ 誠は宝「童話」 柳沢りん
- ③ 在校中の姉へ 沼田実女二 星野すが
- ④ 女子遊学に就いて 桜井ちか (〜2月28日(3))
- 25日(土)
- ③ 光の迷子「童話」 金尾夏子
- ③ 写真の御礼 沼田実女二 野木村はつひ
- ④ 田園文化の建設(1) 帆足理一郎 (〜3月2日(4))
- ⑥ 二人権三「講談」(1) 大河内翠山 (〜8月25日(例)まで確認)
- 26日(日)
- ② 俺が村の開発(10) 鉄道を善用せよ 小柳
- ③ 火の人形「童話」 金尾夏子
- ③ 誰だらう「詩」 佐竹草迷宮
- ③ 親しき友へ 沼田実女二 染合さち
- ④ 恋の芽ばえ「小説」 亀井
- ④ わかれ 吾妻京子
- ④ 海の夜 コロンボより「短歌」 原三郎
- ④ 鶏病む「短歌」 勅使河原汀星

- ④早春賦「詩」 茂木実  
 ④断篇 バイロンより「詩」 佐藤政郎訳  
 27日(月)
- ②俺が村の開発(11) 一村は一家の如く 癸生  
 川
- ②サンガー夫人主張の子種に制限は愚新マ  
 ルサス主義を難ず(1) 高島米峰(談)  
 (〜3月4日(4))
- 28日(火)
- ②俺が村の開発(12) 処女の自覚を望む 新聞雜  
 誌を読み 花紅女
- ③親しき友へ 沼田実女二 生方より  
 大正11年(1922) 3月  
 1日(水)
- ②俺が村の開発(13) 赤城山を中心とし 大に産  
 業を興せ 梧桐
- ③サボン「童話」(1) 河原森月  
 (〜3月2日(2))
- ④子供の為めに 雨小路毒二(〜3月3日(3))
- ④S教授 紺屋の丁稚  
 2日(木)
- ②俺が村の開発(14) 青年の奮起と自覚 村勢発  
 展の原動力 一青年
- ③火事見舞返事 沼田実女二 坂爪寿賀子
- ④暁を歩む若人「詩」 山村春香
- ④春宵「短歌」 野口市郎  
 3日(金)
- ②俺が村の開発(15) 譲歩の念を保て 余り天狗  
 になるな 武井
- ③お雛さま「詩」 一枝子  
 ③金の帆船「童話」(1) 大木雄三  
 (〜3月11日(6))
- ④婦人と平和(1) ガンドレット恒子  
 (〜3月4日(2))
- ④我が日の歌「詩」 上田えいじ  
 4日(土)
- ③都会に遊学せんとする女学生の為めに音  
 楽志望者に対して 村上東京音楽学校長  
 (談)
- ③ポチの芸「詩」 佐竹草迷宮
- ③忠吉の冒険「童話」 金尾夏子
- ③病氣見舞 沼田実女二 青山登美
- ④私の見た政党 与謝野晶子  
 5日(日)
- ④流動意識と社会交渉 登丸栄一
- ④迷へる男「戯曲」 山純之助
- ④浦島太郎から乙姫に 亥さ子
- ④夕ぐれ「詩」 しづえ
- ④からす「詩」 薫風
- ④愛の衝動「短歌」 澄谷磐根  
 6日(月)
- ②俺が村の開発(16) 市街地隣接農村は 斯うし  
 て開発する 小池鷺平  
 7日(火)
- ③言論の自由を抑圧する過激社会運動取締法  
 案に就て(1) 清水留三郎 (〜3月8日(2))
- ③慕はしき友に 沼田実女二 清野なを
- ④レモンの花咲く伊太利からアメリカへ 徳
- 川為子 (〜3月9日(3))
- ④産児制限論とマルサスの人口論(1) 山田わ  
 か (〜3月9日(3))
- ④小さな星を見て 中嶋晩輝  
 8日(水)
- ②俺が村の開発(17) 新事業を計画せよそれが  
 死活問題なり 麦畑作切
- ③親しき友へ 沼田実女二 小林きよ  
 ④早春「短歌」 大槻三好  
 9日(木)
- ①涙の女「小説」(1) 中川雨之助  
 (〜7月27日(13))
- ②俺が村の開発(18) 将来へ進歩へ向上へ 現在  
 よりもよりよく 愛読
- ③平和博が動機となつて農村青年の都会出奔  
 が多くなつた此の傾向を如何防止するか  
 堀越勢多郡社会主事(談)
- ③研究の余地多き小学校児童の精神鑑定 桜  
 井久留万校長(談)
- ③親しき友に 沼田実女二 高橋きい  
 ④春宵「短歌」 規矩雄  
 ⑤平和博と我が群馬県  
 10日(金)
- ②俺が村の開発(9) 瀕死の村に対して 有産階  
 級考へよ 池鮒
- ④米国に於ける社会事業の一斑 小橋三四子
- ⑤平和博と我が群馬県  
 11日(土)
- ③旧師へ 沼田実女二 高橋まつ

- ④地主にも小作にも双方に無理がある(1) 諸井四郎 (3月14日(3))
- ⑤平和博と我が群馬県 12日(日)
- ②俺が村の開発(20) 質実健剛の気風を永久に失ふ勿れ 飯塚
- ③牛と蠅「詩」 佐竹草迷宮
- ④木の芽「短歌」 鈴木章舟
- ④五日の旅(1) 山田次郎 (3月21日(6))
- ⑤平和博と我が群馬県
- ⑤混雑の会場より 香雨老人 14日(火)
- ②俺が村の開発(21) 青年の意志を尊重 活動の場所と機会を与へよ 改善
- ③町村農会の活動に就て 矢沢県農会技手(談)
- ③通俗新鴨緑江節「歌謡」 岡部
- ③三郎と犬「童話」(1) 柴田新一 (3月17日(3))
- ④文壇のプロレタリア論(1) 加藤一夫 (3月16日(3))
- 15日(水)
- ②俺が村の開発(22) 村長は父校長は母 多数村民はその子供 角田皓一
- ⑤新鴨緑江節 北甘閑人 16日(木)
- ③新鴨緑江節 教婦さんの心得「歌謡」 北甘閑人
- ③遠方の友へ 沼田実女二 富沢てる
- ④サンガー夫人の主張に就いて(1) 高島平三郎 (3月21日(3))
- ④雪「短歌」 野口市郎 17日(金)
- ②俺が村の開発(23) 着実な気風を語る グリ坊主の青年団 歙之助
- ③新鴨緑江節 祝上州銀行新築竣成「歌謡」 北甘閑人
- ③小学校の友達へ 沼田実女二 根岸えい
- ④教育はどこにある? 最近某所に於ける一事実 爛々 18日(土)
- ③泣虫四郎坊「童話」(1) みどり (3月24日(4))
- ③新鴨緑江節 名物宣伝「歌謡」 北甘閑人
- ③故郷の友へ 沼田実女二 田村寿美子
- ④現代青年に寄す 独断的思想より信仰的生活へ 近角常観
- ④社会改造と婦人開放(1) 有島武郎 (3月24日(3))
- ④寝物語り 毛野武人
- ⑤内務省から本県へ農村問題解決の社会的施設の有無紹介 有馬本県技師(談) 20日(月)
- ②俺が村の開発(24) 市街地の文化を撮取する 事が必要 近藤梅月 21日(火)
- ②俺が村の開発(25) 利根川に架橋して速かに渡船を廃せ 吉野
- ③新鴨緑江節 苛歙誅求の声を聞きて「歌謡」 北甘閑人 23日(木)
- ④芽生江「詩」 三木羊一
- ④安部磯雄氏の産児制限論に就て(1) 山田わか (3月25日(3))
- ④専門家となる前にまづ人となれ 江木衷
- ④農村問題に対する一考察 社会進化の傾向(1) 堀良次 (3月31日(5))
- 24日(金)
- ③通俗人真似鴨緑江節「歌謡」 群馬気まぐれ 25日(土)
- ②俺が村の開発(26) 楯の両面から見て 平面的楽観と立体的悲観(1) 田治平 (3月26日(2))
- ④愛し得ざるもの「短歌」 神保冷平
- ⑤勢多郡に頻発せる小作争議解決策 天笠勢多郡長(談) 26日(日)
- ③打出の小槌「童話」 金尾夏子
- ④農村の娯楽問題(1) 権田保之助 (4月6日(5))
- 27日(月)
- ②俺が村の開発(27) 人間を養成せよそれが開発の要素だ 清水伏馬
- ⑤平和博と我が群馬県 28日(火)
- ②俺が村の開発(28) 田園正に荒んとす 此悪風を打破せよ 旭村

- ③ 我国癩政策に就て 自由療養地の適例 吾妻郡湯之沢部落(1) 光野慶明 (〜4月6日(5))
- ③ 通俗人真似鴨緑江節「歌謡」 群馬気まぐれ (〜4月11日(6))
- ④ 平博警見記(1) 赤毛布 (〜4月11日(6))
- 29日(水)
- ④ 岩間にひとり「詩」 佐藤緑塔
- 31日(金)
- ② 俺が村の開発(29) 自滅せんとする寒村 青年の覚醒を促す 杞憂
- ④ 親に肖ぬ鬼つ子は何故生れるか(1) 山内繁雄 (〜4月5日(3))
- 大正11年(1922) 4月 1日(土)
- ② 俺が村の開発(30) 先づ産業を興し 然して水道を計画せよ 愛読
- ③ 文化と絵画観 真芸術の意義及び愛画家の觀賞態度 竹内作次郎(談) 2日(日)
- ③ 若き女性と凡ての母の爲めに男性的職業を禁止せよ
- ③ 勇敢なる雀「詩」 佐竹草迷宮
- ④ 至醇なる昼 上田えいじ
- ④ 春の人「小説」 羽鳥秋歌
- ④ 旧稿から 茂木実君へ「短歌」 大竹一人
- ④ ふるさとを慕ふ サイドライト、あの日の彼、村娘「詩」 戸井田吉夫
- ④ 生寂「詩」 佐々木白葉
- ④ 涙、春、も一人「詩」 藤井伝次郎
- ④ 此の頃「詩」 巨勢浪次
- ④ 沈丁花「短歌」 野口市郎
- ④ 歩みし道「短歌」 毛木赤城
- ⑤ 花見絵双六(1) 芳太郎 (〜4月12日(10))
- 3日(月)
- ② 俺が村の開発(31) 農業教育の普及 副業奨励 耕作縮少 島田
- 6日(木)
- ④ 愛の進化(1) 高島平三郎 (〜4月11日(4))
- 7日(金)
- ③ 硝子の家「童話」(1) 木心(〜4月18日(6))
- ④ 女子の職業とは何か 嘉悦孝子
- ④ U君を送る 於菟二
- 8日(土)
- ④ 故肅親王と故隈侯 青柳篤恒
- 9日(日)
- ③ 庭園の散歩(感想) 水野葉舟
- ③ 魚と皿「童謡」 佐竹草迷宮
- ④ 文芸批評の一面観 登丸栄一
- ④ 悩みのあと(或男の手記) 川辺潤三郎
- ④ 瑞西の都より 原三郎
- ④ 未来の漫画 堤松多郎
- ④ 「明星」を読む
- ④ 街を見乍ら
- ④ ねずみ夫婦の心中「詩」 中村芳太郎
- ④ 動搖の讚美「詩」 上田えいじ
- ④ 大森行「短歌」 吉田緑葉
- 12日(水)
- ④ 社会事業と婦人(1) 田子一民
- 13日(木)
- ④ 花のお江戸へ 赤毛布半ダース(1) 高畑 (〜4月19日(3))
- ⑤ 上毛美人伝(3) 沼の女怪(1) 水村 (〜7月5日(72))
- 14日(金)
- ④ 国民生活の危機 食糧問題解決の急務(1) 山本条太郎 (〜4月20日(4))
- ④ 中産階級と生活難(1) 松本君子 (〜4月18日(2))
- ④ 「理想郷」は遠くとも(1) 大木雄三 (〜4月19日(3))
- 16日(日)
- ③ 囚はれたる婦人(対話) 荒木滋子
- ③ 鳩の胸毛「詩」 佐竹草迷宮
- ③ 福の神の黒猫「童話」 金尾夏子
- ③ (にくかりし)「短歌」 与謝野晶子
- ④ 誅られた教師の手記(1) 森銃三 (〜5月4日(14))
- ④ 郷愁 佐々木白葉
- ④ 塗糞録 水村
- 18日(火)
- ③ 所謂高師昇格問題(1) 川路幹記 (〜4月19日(2))
- 19日(水)
- ③ 平和博と本県やはり異彩を放つてる染色 蚕糸の出品 内田主任属(談)
- ③ 神様と盗人「童話」(1) 大木雄三

④故郷を去る女(1) 松村文一郎  
 (1)まで確認  
 (1)まで確認

21日(金)  
 (1)まで確認

④人をつくる迄 乗杉嘉寿

④本能主義と自由恋愛 富永徳磨

22日(土)

③うさ公とガア子さん「童話」 水野銀月

④ある日の感想(1) 高須梅溪(1) 5月3日(7)

④英国民の特性(1) 安井哲子(1) 4月25日(2)

23日(日)

③学力も男子同様に 山脇玄

③(長椅子に)「短歌」 与謝野晶子

③豚の昇天「詩」 佐竹草迷宮

③犬盗人「童話」 金尾夏子

④弱きものゝ叫び 雨小路毒二

④教員虐殺「小説」 鈍武羅

④春陽会のこと 木村荘八

④桃咲く里 別れし曙会の人々に「詩」 大槻三好

④孤独「詩」 大竹好太郎

④春二題 春あはたゞし、平和博夜景「短歌」 窪田泰二

26日(水)

③逝ける我が隈侯 在りし日の偉人の面影(1) 松沢知司(述) (1) 4月27日(2)

③鬼の子「童話」(1) 水野光一 (1) 4月27日(2)

④雀の歌 戸井田吉夫様へ「短歌」 沖久佳苗 (1) 4月27日(2)

④木瓜の花「短歌」 はく葉 27日(木)

④男女道徳の進化と産児制限(1) 安部磯雄 (1) 4月29日(3)

28日(金)

③悪魔と農夫「童話」(1) 水野春月 (1) 5月2日(2)

29日(土)

③唯一の夫婦心中国 三輪田元道 (1) 5月6日(2)

③大きな黒い靴「童話」 金尾夏子 (1) 5月6日(2)

4日(木)

④我国労働運動の欠陥に就いて(1) 境野黄洋 (1) 5月6日(2)

④現代の女学生の新しい傾向 三輪田元道 (1) 5月6日(2)

6日(土)

③神の悪戯 中島雨郷 (1) 5月9日(2)

④現代の懺悔生活(1) 武田豊四郎 (1) 5月9日(2)

④処女から人妻への変化を眺めて(1) 吉岡弥生 (1) 5月11日(3)

⑤此の不景気に処して農村の経営は如何にす (1) 5月11日(3)

④木瓜の花「短歌」 はく葉 27日(木)

④男女道徳の進化と産児制限(1) 安部磯雄 (1) 4月29日(3)

28日(金)

③悪魔と農夫「童話」(1) 水野春月 (1) 5月2日(2)

29日(土)

③唯一の夫婦心中国 三輪田元道 (1) 5月6日(2)

べきか 折原農事試験場技手(談)

7日(日)

④「新しき欲情」に就いての断片語 高橋元吉

吉

④断片 萩原恭次郎、佐藤惣之助、生田春月、福田正夫、荻原井泉水、山村暮鳥、和辻哲郎、金井津根吉

④塗糞録 正木

9日(火)

③建設と破壊 荒木滋子

9日(火)

③象の行水「童話」 金尾夏子

③犯罪防止策に就て(1) 鈴木喜三郎 (1) 5月12日(2)

10日(水)

③伝説 鬼のはじまり「小説」(1) 北島春石 (1) 5月12日(2)

11日(木)

④小作業者が職を捨て、続々出京する 豊原紹介所長(談)

④生活の単純化即文化生活 佐野利器

④子供と童話(1) 久留島武彦(1) 5月13日(3)

④二つの心(1) 亀井毅三 (1) 5月12日(2)

12日(金)

④強者の横暴 憂ふべき国家の前途(1) 中島徳蔵 (1) 5月16日(3)

13日(土)

④驢馬の入智恵「童話」(1) 中島孤島 (1) 5月19日(5)

④教育改造運動の難関(1) 津田光造 (1) 5月19日(5)

- ④田舎の児童に適當の娯楽物を 倉橋惣三  
14日(日)
- ③実生活より光明へ 高島米峰  
③子供に一番多い消化不良 吉岡弥生  
④ぴか〜頭「童話」 勢多郡宮城村 石橋ゆき子  
④さるまわし他「童謡」 金子文子 他  
へコドモノページ
- 16日(火)  
④恋愛の新傾向と変態性欲 高橋毅一郎  
17日(水)  
④欧米に於ける婦人の野外運動 上原敬二  
18日(木)  
④憲政の現実暴露 大山郁夫  
④農民の芸術(1) 永田香橋 (〜5月20日(3))  
④児童の読物に就て(1) 竹内善作  
21日(日)  
③婦人美の本質 桑木敏翼  
③(かきつばた)「短歌」 与謝野晶子  
③不思議な古籃「童話」 金尾夏子  
④伝統への反逆者より 大和田武雄  
④草の上の春 上田えいじ  
④海底で画を描く 堤  
④目ざめ「詩」 畑広治  
④すさみゆく魂「詩」 植村蔵三  
④しひなの花、山の乙女「詩」 藤井伝次郎  
④赤い椿「詩」 里見治雄
- (〜5月17日(3))
- ④蝶「詩」 岩山しづれ  
④追憶「短歌」 澄谷磐根  
④落花 別れし友に「短歌」 大槻三好  
④母死す「短歌」 金井新甫  
④ヴァガボンドの日記より 根本  
23日(火)  
③灰色の狼「童話」(1) 仏蘭西百合訳  
(〜6月1日(6))
- ④新生活に入らんとして 有島武郎  
④山吹「短歌」 山口市郎  
24日(水)  
④文明人と享楽生活(1) 安部磯雄  
(〜5月25日(2))
- ④議論よりも実行 小崎千代子  
④日蔭部屋「短歌」 鈴女  
26日(金)  
④小作争議解決策 岡本英太郎  
④恋愛と変態性欲 高橋毅一郎  
④小学卒業後の女子の進路 下田歌子  
27日(土)  
④農村の経済的革新 松田静雄  
④性教育の醇化美化 小橋三四子  
④伝統的芸術としての童謡の研究(1) 茂木近之助  
28日(日)  
③女性雑感 芥川龍之介  
③日本の女学生観 改良服は感心出来ぬ フイリツプス(談)  
③(足らぬこと)「短歌」 与謝野晶子
- ④童謡は唄ふべきもの 野口雨情  
④清坊と三吉「童話」 勢多郡宮城村 石橋ゆき子  
④桃の木と子供「童話」 久留万校高二 小野吉郎  
④松のたんこぶ「詩」 中村芳太郎  
④みみず大明神 小田律  
④おとか他「童謡」 今井三郎 他  
へコドモノページ
- 30日(火)  
④青年団員の一人として 三島章道  
31日(水)  
④能率の増進(1) 渡辺鉄蔵 (〜6月1日(2))  
④(英国民の堅実を学べ 安井哲子  
大正11年(1922) 6月  
1日(木)  
④若き人々へ 与謝野晶子  
2日(金)  
③五つの夢「童話」(1) 大木雄三  
(〜6月8日(5))
- ④山岳美感和恐怖感 吉江狐雅  
④危険なる物質主義と頽廢せる人情道德(1) 島田三郎  
(〜6月3日(2))  
④雑詠「短歌」 毛木赤城  
3日(土)  
④近代自由思想と我国の道德觀念 吉田熊次  
4日(日)  
③罪悪か福音か サンガア夫人第一印象記 石本静枝

- ③(君恋し)「短歌」 与謝野晶子  
 ③職業婦人と家庭性によつて職業を区別する必要なし 吉岡弥生  
 ④夕暮の部屋、あきらめ、桐生川のほとり「詩」 東宮七男  
 ④眩む心「詩」 戸井田吉夫  
 ④百姓の歌へる「詩」 五十嵐瀧吉  
 ④短篇三、水色の洋館に、雨の言葉「詩」 阿部平寿  
 ④光ちゃん、飛び廻りたい心「詩」 一条恭二  
 ④吾の歩み「詩」 登丸栄一  
 ④雨後の庭「短歌」 六本木政男  
 ④赴任の頃「短歌」 浪路行春  
 ④塗糞録 正木  
 ④縮緬じは 中村芳太郎  
 ④明路の思出で 山田静蔚  
 ④現代文化生活と其の調査機関 後藤新平  
 ④民衆娯楽としての活動写真と其感化力 権田保之助  
 7日(水)  
 ④「時」と古人の教訓(1) 三上参次(講演)  
 ④眼の間違ひ(1) 桑田芳蔵 (1)まで確認  
 ④鬼婆さんの話「童話」(1) 木田鉄太郎 (1)まで確認  
 ④小説の教育的価値 吉田熊次 (1)まで確認  
 ④山に登つて考へること 横有恒  
 ④山より見た最近の政界 与謝野晶子  
 ④恋愛及結婚の進化(2) 内田魯庵 (2)から確認  
 ④教育ある婦人の墮落 木村貞子  
 ④入学試験の改善に大事な研究の二三 檜崎浅太郎(談)  
 ③伝説 白蛇の宮「童話」 清水松峰  
 ④時の記念日に際し農家に望む 折原農試技手  
 ④芸術の究意と宗教(1) 吉田絃二郎 (1)から確認  
 ④世界を廻りて(1) 三浦環 (1)から確認  
 ④生活改善に就て 添田寿一  
 ③避暑と旅行の人々へ送る言葉 宮田修  
 ③福の神の舞戻り「童話」 金尾夏子  
 ④小さきものへ 雨小路毒二  
 ④先生の顔「小説」 川辺潤三郎  
 ④田舎詩人の貧しき手袋、親しい永恒の友、覚書 或る懐級の人々に与ふるもの「詩」 茂木実  
 ④夜雨小曲「詩」 大和田武雄  
 ④疲れゆく自然「詩」 梅津錦一  
 ④五月雨「詩」 千代女  
 ④春の魅の香「短歌」 澄谷磐根  
 ④兵隊の歌「短歌」 窪田春彦  
 ④旅枕「短歌」 住谷まづみ  
 ④ぼん湯行「短歌」 以佐武  
 ④物価と需給関係(1) 高見沢清  
 ③不思議な花「童話」 近森めぐみ  
 ④文芸に理解なき現代の社会生活を排す  
 ④科学から見た人口 額田豊  
 ④婦人参政権の意義(1) 山田わか (1)から確認  
 ④よりよき社会への生の悩み 有島武郎  
 ④社会の改善に就て 塚本はま子  
 ③台湾旅行記(2) 新井彰 (2)から確認  
 ③婦人と信仰 本荘可宗  
 ③蛙の音楽団「詩」 佐竹草迷宮  
 ③突貫自動車「童話」 金尾夏子  
 ④軍縮の剰余金を失業者救済へ 豊原又男  
 ④「白蓮の子」の考察(1) 高島米峰 (1)から確認  
 ④春の素描「詩」 上田えいじ  
 ④春の素描「詩」 上田えいじ (1)から確認

- ④私の宗教 与謝野晶子  
29日(木)
- ③火の島の話「童話」(1) 大木雄三  
〜7月11日(7)
- ④現今の合衆国 野村敬徳  
〜7月7日(6)
- ④家庭に於ける音楽と舞踊 田辺尚雄  
大正11年(1922)7月  
2日(日)
- ③女人崇拜 ガラントリの生活と婦人 本荘可宗
- ③小探偵「童話」 金尾夏子
- ④落日を追ふ者「戯曲」 早水城春
- ④妾は帰りたい「戯曲」 平野時雨  
4日(火)
- ④社会改造の出発点 有島武郎
- ④精神分析学の功用(1) 杉田直樹  
〜7月7日(3)
- 6日(木)
- ④陶宮術と処世 森友造
- 7日(金)
- ④男女交際の基調 市川源三
- ④生活改善は婦人の手で 共同的に社会的に  
神戸正雄
- ⑤上毛美人伝(4) 女侠お竜(1) 水村  
〜9月9日(60)
- 8日(土)
- ④進歩せる資本主義 南鼎三
- ④子供の喧嘩に就いての一考察 川島次郎  
9日(日)
- ③最近欧米に於る婦人の原始趣味 本荘可宗
- ③(思ふこと)「短歌」 与謝野晶子
- ③パイプの昇天「詩」 佐竹草迷宮
- ③正吉の吃驚仰天「童話」 金尾夏子
- ④かがみのかを他「童謡」 根岸ミナ他  
古ぼうし他「綴方」 平井芳夫他  
へコドモノページ
- ④妙なお客「童話」 石橋ゆき子
- 11日(火)
- ④罰するより先づ救へ 刑余者に対する社会の寛容(1) 平沼騏一郎  
〜7月13日(3)
- 12日(水)
- ③狐と七造「童話」 植村祐三
- ③新鴨緑江節 北甘閑人
- ④子供のための雑感(1) 東宮七男  
〜8月8日(4)
- 13日(木)
- ③通俗新鴨緑江節 肥料廉否の話 桃井村農  
会
- 14日(金)
- ④資本家の見たる欧米労働状態(1) 藤原銀次郎  
〜7月20日(3)
- 15日(土)
- ④同情心の修養に就いて(1) 高島平三郎  
(1)まで確認
- 16日(日)
- ③(芝居より)「短歌」 与謝野晶子
- ③貞信尼の話 本荘可宗
- ③わたしの笛「詩」 佐竹草迷宮
- ③本当の叔父さんか「童話」 金尾夏子
- ④少年教師の悩み 清水房之丞
- ④汎民族思想へ 大和田武雄
- ④ある男の道化心 上田えいじ
- ④海の詩「詩」 東宮七男
- ④夜の悲劇「詩」 梅津錦一
- ④生活の断片「詩」 阿部平寿
- ④短篇二「詩」 鳥山翔
- ④山の茶屋にて「詩」 藤井伝次郎
- ④夏を歌ふ「詩」 平野千代女
- ④アトリエ「短歌」 住谷磐根
- ④陽は沈む「短歌」 六本木政男
- ④雑木林「短歌」 柳沢千弘
- ④木ばら「短歌」 近岡江い路
- ④毒は熟れど「短歌」 鈴木葦舟
- ④野茨「短歌」 きくを
- ④待宵草にさそはれて「詩」 中村芳太郎  
18日(火)
- ④徹底と妥協(1) 境野黄洋  
〜7月19日(2)まで確認
- ④月夜の聯想 癸生川春三
- 19日(水)
- ④愛嬌と魅力とは共に婦人の生命 山内繁雄
- ④たんぼ「童謡」 吾妻郡中山校尋二 桑子  
哲雄
- ④哲ちやんが来た「童謡」 桑子ふみ
- ④黒いくも「童謡」 岩野谷 白石重子
- ④お家の猫「童謡」 四年生 角田喜代治
- ④つばめの子「童謡」 細野小四郎

④筑波根大吉「小説」(1) 松田竹の島人

(～翌年5月14日(3))

21日(金)

④民衆運動の根本思想 国際主義乎国民主義

乎 中島徳蔵

④近代デモクラシーに就いての一考察(1) 田

中萃一郎

④妻も人として夫と同じ食物を(1) 棚橋源太

郎

22日(土)

③強い兄賢い弟「童話」(1) 大木雄三

(～8月1日(5))

④同盟罷業の意義(1) 堀江婦一(談)

(1)まで確認

23日(日)

③ガンデイズムと婦人 本荘可宗

③嫁と姑の感情の出発点 西川文字

③(手のひらへ)「短歌」 与謝野晶子

③お馬よ「詩」 佐竹草迷宮

③三つの願ひ「童話」 金尾夏子

④民衆芸術に就て 雨小路毒二

④小唄 村娘 おきんさん、おしんなぜ泣く、

おつやさん「歌謡」 奈良宇太次

④病めば翻弄される「小説」 根本

26日(水)

③奥の細道(1) 前橋高女同窓会旅行団

(～8月2日(6))

④犯罪の防止策(1) 鈴木喜三郎

(～7月28日(3))

④子女の教育上注意すべき事ども(1) 佐々木

吉三郎

28日(金)

①第一線「小説」(1) 島川七石

(～翌年1月17日(6))

④内在的フランス文化(1) 野口保興

(～8月3日(5))

29日(土)

④我蚕糸業の病根 武藤山治(談)

④山岳旅行の話(1) 白沢保美(～8月2日(3))

大正11年(1922)8月

1日(火)

④都会生活に憧憬 農村青年に告ぐ(1) 笠原

金蔵

3日(木)

③英米映画の一瞥 内ヶ崎作三郎

③思はれぬ「短歌」 与謝野晶子

③軍人と学者「詩」 佐竹草迷宮

③朝顔の花 加藤武雄

③皮肉やの逆振「童話」 安田らく子

③軽井沢へ(1) 高畑、山田 (～8月11日(5))

4日(金)

③二十年前与岩崎介石遊房総、頃日見寄佳篇

即次韻以贈「漢詩」 大東明江

③寄明江大東先生「漢詩」 岩崎介石

6日(日)

③楽聖のローマンス 石本静枝

③くろんぼさん「詩」 佐竹草迷宮

④一つの事実 子供本よむべからず 森銃三

④エル、グレコの人と芸術 岡田忠一

④生の果まで「戯曲」 平野時雨

④不二行「短歌」 杉山美津留

8日(火)

④農村改善策 新農村建設の提唱(1) 横井時

敬

④結婚の準備としての男女共学(1) 市川源三

④江戸時代の音楽及戯曲としての義太夫節の

推移(1) 町田伝三 (～8月11日(3))

④黄昏と私と 上田えいじ

11日(金)

③食糧調節問題 佐々木平次郎

④農村の建築を如何に改造すべきか(1) 今和

次郎

④芸術味溢るゝライト式建築 星島二郎

12日(土)

③農銀雜親「川柳」 閑人

④恋愛の倫理に就て 吉田静致

(～8月19日(6))

④子供に工夫の時間を与へよ(1) 塚本はま子

(～8月17日(2))

④十和田湖の主(1) A T (～8月17日(2))

④憂鬱なる月明「詩」 山口傷々花

13日(日)

③良人の不品行は妻の希望と勇気を失ふ因

鳩山春子

③太郎の智慧「詩」 佐竹草迷宮

③太郎の水責「童話」 江口八重子

- ④或る日の雑感 都丸玉子  
 ④或日の午後 佐々木白葉  
 ④涙垂れつ 野声  
 ④駄目 岩淵刀根夫  
 ④野に運動する私の魂「詩」 梅津錦一  
 ④湯治客、温泉場「詩」 薫風  
 ④夏の夕、裏の与四ちゃん、ほていらんのか  
 へる「詩」 清水邦嗣  
 ④かなしき、月見草「詩」 コスモス女  
 ④山峡 奈良宇太郎君に「短歌」 彼方紅路  
 14日(月)  
 ③農銀情調 新都々逸 閑人  
 15日(火)  
 ④宵の村「短歌」 相川徳夫  
 ⑤農銀情調(新鴨緑江節) 閑人  
 16日(水)  
 ④経済的生活の創造 伊藤文吉  
 ④子供に読ませる本(1) 今沢慈海  
 (〜8月17日(2))  
 19日(土)  
 ④体質的改造の国民的運動(1) 潮恵之助  
 (〜8月19日(4))  
 ③縛られてゐる醜さ 荒木滋子  
 ③蜂と悪太郎「詩」 佐竹草迷宮  
 ③氷菓子屋さん「童話」 金尾夏子  
 ④浴泉雑記(1) 与謝野晶子 (〜8月23日(3))  
 20日(日)  
 無断上京者は朋友の悪感化から友の撰択に  
 注意せよ 柴田忠徳
- 21日(月)  
 ②立山戸隠跋涉記(1) 土屋 (〜8月29日(7))  
 22日(火)  
 ④近代思想上に於ける宗教的傾向(1) 永井柳太郎 (〜8月26日(5))  
 ④婦人の新職業(1) 山田わか(〜8月24日(3))  
 23日(水)  
 ④二葉亭の墓碑新たに建ちて(1) 長谷川柳子 (〜8月26日(3))  
 24日(木)  
 ③嘘つき甚兵衛「童話」(1) 大木雄三 (〜9月7日(9))  
 ④垂髪「短歌」 彼方紅路  
 26日(土)  
 ④家庭教育に就いて 与謝野晶子 福富正雄 (〜8月30日(3))  
 ④人生を生甲斐あるものとせよ(1) 福富正雄  
 27日(日)  
 ③生さぬ仲を如何に親ませるか 宮田脩  
 ③名刀と伝説 原田東風  
 ③三人の音楽師「詩」 佐竹草迷宮  
 ④新しき村へ旅して 戸井田吉夫  
 ④黎明の光「詩」 佐々木白葉  
 ④一年生のかいた絵「詩」 清水邦嗣  
 28日(月)  
 ④慶安太平記「講談」(1) 原田東風 (〜翌年5月26日(30))  
 29日(火)  
 ④西洋文明に代るべき東洋文明の二大潮流
- 石本恵吉  
 ④世界平和の真相(1) 堀内文次郎 (〜8月31日(4))  
 ④雑誌の毒々しい絵で害される子供の眼 内善作  
 31日(木)  
 ④経済組織の将来 高橋誠一郎  
 ④美の価値に就ての一考察(1) 井上房一郎 (〜9月10日(7))  
 大正11年(1922)9月  
 2日(土)  
 ④英国婦人の特長と英帝国(1) 山田わか (〜9月6日(2))  
 3日(日)  
 ④金の笛「詩」 佐竹草迷宮  
 ③玩具の文化的意義 藤五代策  
 ③男に愛されたいと云ふ意識 小川未明  
 ③仙境黒滝山(1) 青水 (〜9月13日(6))  
 ④生命を歌ふ 戸井田吉夫  
 ④温泉二つ 戸倉と赤倉 長島健司  
 ④赤城紀行 金子利根太郎  
 ④Oさんのこと 東京の大木兄に 塚越麗泉  
 ④薄暮の田舎にて、田園小景「詩」 上田えいじ  
 5日(火)  
 ④農村雑感(1) 村田琴古 (〜9月12日(2))  
 6日(水)  
 ③句一朝「俳句」 冲春亭  
 ④政党员と政商人 中野正剛

- ④足袋屋の娘〔詩〕 芳太郎  
 ④海〔詩〕 小坂丑作  
 7日(木)  
 ④別れ〔詩〕 みさじ  
 ④二重生活と人間の悲哀 有島武郎  
 8日(金)  
 ③犬次の踊り〔童話〕(1) 木田鉄太郎 (～9月9日(2))  
 ③句一朝〔俳句〕 仲春亭  
 ④ほたる〔詩〕 島之郷校 佐野きん  
 ④モデル女彫刻家は体格美を洋画家は色彩美を尊重します 宮崎幾太郎  
 9日(土)  
 ④言葉の進化に就いての雑感(1) 藤井真澄 (～9月13日(3))  
 ④蓮の葉〔詩〕 清水邦嗣  
 ④夏の景物〔詩〕 上田えいじ  
 11日(月)  
 ③恋の猫塚(1) 水村 (～12月29日(96))  
 ③現代芸術の精華 露西亞舞踊の話 アンナ・パヴロワ夫人の来朝 山本久三郎  
 ③カア、カア鳥〔詩〕 佐竹草迷宮  
 ③米国の女性 教育は凡て実際的 内ヶ崎作三郎  
 ③女の姿が軽快になつてきた 長田幹彦  
 ④最近の読書界(1) 今沢慈海(～9月19日(4))  
 ④草刈人〔童謡〕 白鳥省吾  
 ④没常識な神崇りや仏崇りのお話 平田徳三
- ④柳〔詩〕 佐藤落葉  
 13日(水)  
 ④中流婦人の自覚すべき時(1) 河田嗣郎 (～9月14日(2))  
 ④西瓜〔詩〕 島之郷校 石川良平  
 14日(木)  
 ④自らを救ふの途 阪谷芳郎  
 ④少女にあたる〔詩〕 芳太郎  
 ④文芸の新主観について(1) 今野賢三 (～9月21日(3))  
 16日(土)  
 ③通俗田びる抜取宣伝〔歌謡〕 北甘閑人  
 ④世界児童自由画展覧会を觀て(1) 岸辺福雄 (～9月19日(2))  
 ④民謡童謡から見た地方文化(1) 白鳥省吾 (～9月19日(2))  
 ④波〔詩〕 小坂丑作  
 ④利根川心中〔詩〕 植村ゆう三  
 17日(土)  
 ③服装の欧化と婦人 長田秀雄  
 ③家鴨のお母さん〔詩〕 佐竹草迷宮  
 ③近松と西鶴 加藤武雄  
 ③お化けの正体〔童話〕(1) 緑葉 (～9月19日(2))  
 ④金のオーム〔童話〕 久留万校高二 小野吉郎  
 ④先生の頭と顔 他〔童謡〕 男師附属校 春子 他／夕暮 他〔綴方〕 島之郷校 茂木忠次 他 (～9月19日(2))  
 ④「上毛コドモ新聞」の発行  
 21日(木)  
 ③家鴨の天上〔童話〕(1) 水野春月 (～9月27日(5))  
 ⑤郷土の伝説 山水を背景に文部省が脚本を書いて農村娯楽の向上を期す  
 22日(金)  
 ④ダンマツツイオ 欧州戦乱を背景として世界の松舞台に名を為した文豪(1) 佐藤雪夫 (～9月23日(2))  
 ④赤ざくろ〔詩〕 清水邦嗣  
 23日(土)  
 ④新時代の婦人と結婚に就て(1) 山田わか (～9月26日(2))  
 24日(日)  
 ③叔父さんの銃狢〔詩〕 佐竹草迷宮  
 ③新道徳と義理人情 荒木滋子  
 ④郊外を歩む 松村文一郎  
 ④寂しき者の歌へる〔詩〕 五十嵐てるみ  
 ④あこがれ〔短歌〕 鈴木葦舟  
 ④ひとり居〔短歌〕 冷平  
 ④秋夜若人〔短歌〕 上田えいじ  
 ④夜の窓〔短歌〕 齊藤華陽  
 ④はなれ馬〔短歌〕 沢良路  
 ④鷺〔短歌〕 野口市郎  
 ④「上毛コドモ新聞」の発行  
 26日(火)  
 ④農村生活には節約の出来る部分が沢山ある (1) 横井時敬 (～9月28日(3))

- ④支那の新しい詩 米田祐太郎  
27日(水)
- ③産馬改良(安米節)  
③畜産宣伝(鴨緑江節)  
③高尾詣(1) 青水 (〜10月3日(3))
- ④新時代の婦人と結婚に就て 山田わか  
④曼珠沙華「短歌」 大橋順治  
④「上毛コドモ新聞」の発行  
28日(木)
- ③鳥のお礼(1) 甚六 (〜9月29日(2))
- ④都市と田園 与謝野晶子  
29日(金)
- ④勇者(1) ガブリエレ、ダンヌンツイオ 佐藤雪夫訳 (〜10月3日(2))
- 30日(土)
- ④農村巡礼記(1) 阿久沢英治(〜10月14日(7))  
大正11年(1922)年10月1日(日)
- ③榎立き「童話」 荒川浩  
③木馬「詩」 武田三郎  
③ポプラのお国「童話」 関口延雄
- ④愛の幻影 清水房之丞  
④秋日冗語 晁風  
④靴、葡萄酒「詩」 佐藤雪夫  
④耽溺 穂二
- ④雨ふり花、恋文を、ほうせんか「詩」 か  
ほる
- ④秋、夜店、私の胸「詩」 柴ゆき路  
④小曲「短歌」 野口嘶一郎
- 3日(火)
- ④小守唄「歌謡」 井田春水  
④ほんおどり「歌謡」 鈴女  
4日(水)
- ③秋ばら「童話」 刀川漁人  
③新作八木節 群馬郡桃井村農会  
④I W W運動(1) エルエルデイヒツプシユマン 佐藤政吉訳 (〜10月14日(8))
- ④娘を助けた為め自分も助かった話 島田老人  
6日(金)
- ④活動映画の検閲は映画を殺すやうに誤解されるが夫は大間違(1) 橘高広 (〜10月8日(3))
- 8日(日)
- ③お山の大将「童謡」 武川三郎  
③亀岩物語「童話」 刀川漁人  
④節約運動の批判(1) 海野幸徳 (〜10月11日(3))
- ④雨降る日「詩」 高橋赤城  
11日(水)
- ③県参ウエルカム節「歌謡」 北甘閑人  
③月見草と仲善し「童話」(1) 佐藤雪夫 (〜10月12日(2))
- ④活動狂と変態性欲(1) (〜10月12日(2))  
12日(木)
- ④我子の教育 与謝野晶子  
④時代の民謡(1) 藤沢衛彦 (〜10月14日(3))  
13日(金)
- ③白金の御殿「童話」 花和尚  
14日(土)
- ③低能児と劣等児との境界線 小野秀瑠  
③空へあがる話「童話」 荒川浩  
③赤城探賞記(1) 香雨老人 (〜10月20日(5))  
15日(日)
- ④戦後の教育をいかにすべきか(1) 高田早苗 (〜10月21日(3))
- 17日(火)
- ④お父さんの話 水野村吉  
④血の池地獄 木田鉄太郎  
④柿「童話」 清水房之丞  
19日(木)
- ④戯曲と小説(1) 島村民蔵 (〜10月20日(2))  
④彼の死 雨小路毒二  
21日(土)
- ③甘藍のお姫様「童話」(1) 関口延雄 (〜10月24日(2))  
③紅葉と温泉(1) 香雨老人 (〜10月22日(2))  
④未来派詩抄(1) マリネツテイ 佐藤雪夫訳  
22日(日)
- ③痴人の美 或る秋の或る女 水守亀之助  
③小鳥のお経「詩」 佐竹草迷宮  
③山彦「童話」 荒川浩  
③紙上を借りて 祝大芝知事の栄転「詩」 小泉屋内九〇の屋主人
- ④童謡に就ての考察 清水房之丞  
④自分の内なるもの 上田えいじ  
④宵と街「詩」 マリネツテイ 佐藤雪夫訳

- ④港の灯 住谷三郎氏に捧ぐ、パツシヨンの歌  
「詩」 戸井田吉夫
- ④灰色の馬車「詩」 大槻三好
- ④秋の歌「短歌」 野口市郎
- ④いたつき「短歌」 若林茂人
- ④赤城行「短歌」 突二
- ④数の有つ感じ 晁風
- 24日(火)
- ④子供と玩具 久留島武彦
- ④大正道路の女(1) 山田糸雪(11月8日(8))
- ④帝展入選画批判(1) 竹内作次朗  
(11月3日(7))
- 25日(水)
- ④芸者無用論(1) 山室軍平 (10月31日(3))
- 26日(木)
- ③新鴨緑江ぶし 火の玉小僧
- ③魔のバイオリン「童話」(1) 大木雄三  
(11月4日(7))
- ④婦人の洋装流行に就いて(1) 山田わか  
(10月27日(2))
- ④物価と貯蓄 小林丑三郎
- ④彗星(1) 井上 (10月28日(3))
- ⑤風流部長歌物語 水麴派の歌人後藤汀氏
- 27日(金)
- ④最近の感想 与謝野晶子
- ④溪間煙「短歌」 星長剛
- 29日(日)
- ③賢人の美 或る秋の或る女 水守亀之助
- ③黒ん坊「詩」 荒川浩
- ③肝漬し「童話」 金尾夏子
- ④或る夜の魂 穂二
- ④靴墨 中島茂平
- ④静かなる憂鬱、夜を愛する孤独「詩」 素秋
- ④ひとり、尾花「詩」 薫風
- ④ひよこ、山雀「詩」 相川徳夫
- ④北海道拾遺 親しき人々へ「短歌」 大沢雅  
休
- ④旅愁抄「短歌」 浅川英一
- ④折々の歌「短歌」 金湖利根太郎
- ④涯なき夢「短歌」 角田清次郎
- ④日を追ひて「短歌」 若林茂人
- ④近頃の歌「短歌」 山田雅夫
- ④ゆすらご「短歌」 鈴木葦舟
- ④赤城山「短歌」 寛籠牽泰
- ④虫ぼし「短歌」 神宮清芳
- ④柿の実「短歌」 柳沢千弘
- ④塗羹録 水村
- 31日(火)
- ④精神から来る秋の肉体美 吉井錦陵
- ④葡萄、イナゴ、出来ない道「童謡」 小坂  
丑作
- 大正11年(1922)11月  
2日(木)
- ③農村に横はる一大溝渠 小作問題の解決は  
如何にす可きか? 同憂の土の批判を乞ふ(2)  
大島戸一談
- (2)から11月9日(7)まで確認
- ③其日の集ひ 後藤汀氏歓迎歌会「短歌」 後藤汀、須藤泰一郎、梨畑花城、吉田緑泉、小川伊七造、茂木寛、正木水村、金子信三郎、岡田春子、市川たかし、大沢雅休、清水房之丞、植村祐三
- ④誤まれる文化生活(1) 野上俊夫  
(11月3日(2))
- ④農村文化の価値(1) 中島半次郎  
(11月4日(3))
- ④伝記と縁起に現はれたうそ(1) 喜田貞吉  
(11月3日(2))
- 3日(金)
- ④山の秋「詩」 薫風
- ④闊歩「詩」 藤井涙二
- 4日(土)
- ④芸術教育に就て 童謡音楽舞踊教育の価値と児童の心理に及す影響(1) 赤麓学人  
(11月7日(2))
- ④世界をめぐるて婦人の使命を感じ(1) 井上  
秀子  
(11月5日(2))
- 7日(火)
- ③服装問題の処置 時代化せる天平式の服装  
提唱 斉藤佳三
- ③人形「詩」 荒川浩
- ③独塊に於ける反動的精神 綿貫哲雄
- ④最近失業者問題(1) 上木嘉雄
- ④赤い柿「詩」 木部ふくよ
- ④日本の婦人は贅沢である(1) 長尾半平  
(11月8日(2))

- 8日(水)  
④プロレタリア劇作家(1) 渡平民 (～11月14日(3))
- ④音楽は大切な心の糧 田辺尚雄  
9日(木)  
④欧米に於ける女性の知的発展 井上哲次郎  
④父と長兄(1) 仲春亭 (～11月14日(2))  
10日(金)  
④我が用語はどう統一す可きや 最近一種の流行にて将来混乱甚しからん 福永恭助 (談)
- 12日(日)  
③写真による性格批判 高峰博  
③物真似「童謡」 西条いと子  
④妹の夢、消滅の悩み、秋と恋、秋五景「詩」 清水房之丞  
④小唄 歌妓とめてとまらぬ、つとめするみ、おいらん草が、あいてあかれた、あの日憶へば、娘ごころ「歌謡」 傘、つばめ、芋とり「童謡」 暮路京之助  
④君は嫁ぐ「詩」 柴田新一  
④旅情「短歌」 山中白楊  
④子持山「短歌」 神保冷平  
④折々の感、消点検「短歌」 天笠影一  
④秋雑詠「短歌」 薫風  
④馬車に揺れて「詩」 中村芳太郎  
④「雨はけき」「短歌」 後藤汀  
④其の日の歌「短歌」 後藤汀、須藤泰一郎、吉田緑泉、大沢雅休、鈴木汪、清水房之丞、
- 小川伊七造、近藤忠太郎、吉川慎一、沢本郁之助、鈴木葦舟、田中稲一、矢島胖、植村祐三、梨畑花城、金子信三郎、角田穂二、角田蒼穂、松村俊郎、岡庭郁二、岡田春子、徳江亥之助、清水吟爾、市川たかし、若林茂人、金箱慶三、小坂橋一雄、松島静子、天笠彰一、奈良宇太次、竹内龜松、上野池一、茂木寛、中村芳太郎、神保冷平、矢島ひろし、正木水村  
④塗糞録 水村  
14日(火)  
④文化生活の意義(1) 大木雄三 (～11月16日(3))  
④再婚と貞操観念(1) 安部磯雄 (～11月18日(4))  
16日(木)  
④人は何故に自殺せんとするか 社会問題としての研究(1) 大場実治 (～11月17日(2))  
④十日夜「小説」(1) 大沢正 (～11月21日(4))  
17日(金)  
④日本民族の特性(1) 田中義能 (～11月18日(2))  
18日(土)  
③我精神界の危機(1) 九鬼隆一(談) (～11月19日(2))  
19日(日)  
④芸術教育に就いて 大沢正  
④温泉町より戦友へ 穂二  
④銀杏と桜、蛙、かみなり、蜻蛉、石地蔵、
- 時雨、星「童謡」 暮路京之助  
④この足の異端者こそ「詩」 上田えいじ  
④最初の涙、朝鮮館屋「詩」 ひろぶみ  
④小唄 言葉、小出河原「歌謡」 井田春水  
④月光「詩」 五十嵐てるみ  
④内に省みて 高山晃真  
④終りの一節 冷平  
④あこがれ「短歌」 田中梧葉  
④晩秋「短歌」 羽鳥健男  
④秋思抄「短歌」 山田雅夫  
④月の夜「短歌」 柳沢千弘  
④秋の雨「短歌」 梅沢周一  
④秋雑詠 住谷三郎兄に「短歌」 誉以知  
21日(火)  
③低能児とその環境 小野秀瑠  
③タマのお買物「童謡」 佐竹草迷宮  
③榎「詩」 荒川浩  
③一等賞「童話」 金尾夏子  
④人格の生活 吉田静致  
22日(水)  
③前橋短歌会  
③仙人の話「童話」(1) 田中梧葉 (～11月26日(2))  
④智識と道徳(1) 井上哲次郎 (～11月28日(3))  
④武人的詩人ダヌンチオ(1) 松田竹の島人 (～12月2日(4))  
23日(木)  
④上毛伝説童話(1) 木部姫の井戸と蟹「童話」 水村

- ④小犬の入院〔童話〕 石橋ゆき子  
 ④海鳴り〔詩〕 三木露風  
 26日(日)  
 ③夕ぐれ私は帰る〔詩〕 大藤治郎  
 ③蜻蛉〔詩〕 荒川浩  
 ④病室(一幕劇)〔戯曲〕 一条恭二  
 ④病む秋〔詩〕 暮路京之助  
 ④秋情、病鬱の桜〔詩〕 岡田刀水士  
 28日(火)  
 ③熊のお嫁さん〔童話〕(1) 内山頼四郎  
 ④永夜雑話 与謝野晶子 (12月8日(6))  
 29日(水)  
 ④「土と光」短歌会〔短歌〕 吉田緑泉、大槻三好、大沢雅休、中村芳太郎、近藤忠太郎、天笠彰一、金子信三郎、堺明平、荒井一郎、春山初太郎、岸千代子、田部井寅一  
 ④遺伝と環境(1) 山内繁雄 (12月1日(3))  
 大正11年(1922)12月  
 1日(金)  
 ③金山遊記(1) 香雨老人 (12月3日(3))  
 ⑤上州米の宣伝(黄緑節\*)〔歌謡〕 北甘閑人  
 2日(土)  
 ③産米改良(新鴨緑江節)〔歌謡〕 北甘閑人  
 ④米国婦人参政権獲得運動の表裏(1) 山田わか (12月7日(4))  
 ④輜重隊生活から(1) 伊豆夫 (12月9日(5))  
 3日(日)  
 ③食物と健康 二木謙三  
 ③スロバツクの童話 塩か黄金か〔童話〕 梅津夏子  
 ④港へすてる歌〔詩〕 岡田刀水士  
 ④秋の歌(旋頭歌)〔詩〕 浅川英一  
 ④百日紅、暮れなづむ高原〔詩〕 佐々木白葉  
 ④金山にて、スケッチ、宿直の夜〔詩〕 大槻三好  
 ④秋の風、茅萱穂に出て、糸のもつれか、野良娘、色は黒ろても〔詩〕 暮路京之助  
 ④農夫のうたへる、劇場にて〔詩〕 角田清二郎  
 ④恋の笛、一年目には、淡いゆめ、くちづけの影〔詩〕 中村芳太郎  
 ④かれすゝき、白菊、恋知る年頃〔詩〕 清水笑波  
 ④野に臥して 雨小路毒二  
 ④弱者の悲哀 正美  
 ④菜洗ひ〔短歌〕 金子利根太郎  
 ④晩秋〔短歌〕 榎田晩成  
 7日(木)  
 ④女天下の欧米を旅して(1) 加藤元一 (12月12日(3))  
 8日(金)  
 ④自然界の美(1) 浦本政三郎(談) (12月10日(3))  
 12日(火)  
 ③観想の科学的解剖 動物を例証する人間観  
 の謬見 高峰博  
 ③めぐり来る〔詩〕 近藤春江  
 ③ブルガリヤにあつた話 狼と牡猫〔童話〕 梅津夏子  
 ④消費者同盟(1) 海野幸徳 (12月14日(3))  
 ④輜重隊生活から(6) おほしま (12月24日(12))  
 13日(水)  
 ④音楽家たらんとする若き人々へ(1) 本居長世 (12月26日(3))  
 16日(土)  
 ③広告哲学 香雨老人  
 ③子供達と仔猫〔童話〕(1) 西塔查 (12月22日(3))  
 ④明治大正五十年間に於ける教育の功過(1) 吉田熊次 (12月22日(5))  
 ④木瓜の花〔短歌〕 大橋順治、木村汀花、鈴木白鳥、星野清流、六本木政男  
 19日(火)  
 ③婦人と消費節約 井上秀子  
 ③ふうちやんのお鼻のちやうちん〔童謡〕  
 ③忙中閑話 岩佐聖果  
 ③森の娘〔童話〕 浅井みつひ  
 ④恋愛至上主義を排す 深作安文  
 21日(木)  
 ④現代の淫売問題 待合及芸妓の取締批判(1) 海野幸徳 (12月22日(2))  
 22日(金)  
 ④女性界に記念すべき此一年 下田次郎

- 23日(土)
- ④新青年に与ふ(1) 内ヶ崎作三郎  
 (～12月26日(3))
- ④虐げられし子供の群を見よ 二十世紀は子供  
 の世紀(1) 阿部秀助 (～12月26日(3))
- ④夜業「短歌」 野口市郎  
 24日(日)
- ③夫婦と親子との法律問題 穂積重遠
- ③みかん「詩」 杉浦俊子
- ③支那童話 木登り三太「童話」 荒川浩三
- ④童謡の選択について 心得べき大切なこと  
 野口雨情
- 26日(火)
- ④アンドレーフの饑饉王に就いて(1) 片上伸  
 (～翌年1月12日(4))
- ④夜半に嵐の「詩」 暮路京之助
- ④蝦夷の厳冬「短歌」 大沢以佐武
- 27日(水)
- ③イエス様「童話」 刀水漁人
- ④都会は競走により農村は共同一致に依つて  
 福利増進せよ(1) 横井時敬  
 (～翌年1月7日(2))
- ④今年度中に勃興した婦人問題を顧みて(1)  
 生江孝之  
 (～翌年1月7日(2))
- 大正12年(1923)1月  
 1日(月)
- ④聖朝雅頌「漢詩」 篠原叶、松井親氏、江  
 原桂三郎、星野亀雄、原田竜雄、金井貢
- ④聖朝雅頌「短歌」 香雨老人、正木義雄、  
 清水望爾、一色良存、木村蘭和、正木水村
- ④聖朝雅頌 暁山雲狂歌十首「狂歌」 正
- ⑥最近の芸術運動プロレタリア詩人台頭  
 昇曙夢
- ⑥子宝 須藤鐘一
- ⑥白の泥(長篇の一節) 大沢雅休
- ⑥秋怨「詩」 暮路京之助
- ⑥冬の歌「短歌」 野口市郎
- ⑦斬られた巡査 中村星湖
- ⑦挿画風な風景 高くを行く電車、遠景「詩」  
 岡田刀水士
- ⑦非情なる情愁「詩」 上田えいじ
- ⑦にひたやま「短歌」 吉田緑泉
- ⑦落葉「短歌」 大竹好太郎
- ⑦友の死をいたみ「短歌」 近藤忠太郎
- ⑦こがらしの音「短歌」 鈴木葦舟
- ⑨福の神「童話」 猪子正一
- ⑬美女舞踏「小説」 三上於菟吉
- ⑰猪八戒 豚僂史
- ⑳社会教育としての新聞紙に就て 笠田長継  
 (談)
- ㉕二男三男を如何するか 農村の大問題 久  
 保木実業教育主事(談)
- ㉕国家本位たれ 清水留三郎(談)
- 5日(金)
- ③子供の心持 大人扱ひは悪習慣 倉橋惣三
- ③支那童話 鳥の一念「童話」 春山亥之助
- ③蒼褪めたる桔梗「詩」 安東好路
- ③教育の振興に力を入れ農村の発展を図りた  
 い 天笠勢多郡長(談)
- ④私はかく生きたい 住谷耕人
- ④ふたり「詩」 中村芳太郎、川辺潤三郎
- ④満月「詩」 真下清
- ④短唱「詩」 上田えいじ
- 7日(日)
- ③日の出「童謡」 西條たけ
- ③支那童話 清兵衛と石「童話」 荒川浩
- ③大陸ローマンス(1) 小林(編)  
 (～5月1日(37))
- ④太陽と風(家庭用児童劇)「戯曲」 坪内逍  
 遥
- ⑤上毛美人伝 勇婦猪野(1) 水村  
 (～2月6日(25))
- 9日(火)
- ③笛吹き次郎「童話」(1) 大木雄三  
 (～1月19日(9))
- ③健全なる信仰の上に安住すべく宗教的観念  
 の涵養について 高島米峰(～1月12日(4))
- ④松の内「詩」 きく江子
- ④教育上から見た今日の童話 山崎光子
- ④紙鳶(試作)「短歌」 大槻三好
- 11日(木)
- ④工場音楽の発育 小林愛雄
- ④賀川豊彦氏の「生存競争の哲学」を読み  
 て(1) 屋代周二  
 (～1月16日(5))
- 12日(金)
- ④農民問題と労働問題(1) 安部磯雄

- (1) 1月14日(3)  
 ④婦人の体育に就て(1) 可児徳平(談)
- (1) 1月14日(3)  
 ④大人物と運命予言に対する信仰(1) 小西久遠
- (1) 1月16日(4)  
 ④葦の片葉の「詩」 暮路京之助
- 13日(土)  
 ④「歌かるた」と百人一首(1) 壺中庵
- (1) 1月14日(2)  
 ④幸福(創作)「小説」 石丸梧平
- (1) 1月14日(2)  
 ④家庭生活の中心問題 久留島武彦
- 14日(日)  
 ③支那童話 首なし兵士「童話」 荒川浩
- 16日(火)  
 ④経済的危機を救ふ唯一の途(1) 小林丑三郎
- (1) 1月18日(3)  
 ④生活と信仰(1) 武者小路実篤
- (1) 1月17日(2)  
 ④プラトニッククラブの真髓(1) 木村鷹太郎
- (1) 1月23日(4)  
 ④新天地への旅 徳江亥之助
- 18日(木)  
 ④子供の為の新雑誌 現在の小学校教科書で  
 はいかぬ 日本労働同盟から発行
- ④年頭独語(1) 東宮七男 (1) 1月19日(2)  
 19日(金)  
 ①不知火「小説」(1) 原田東風
- (1) 5月31日(11)  
 ④児童心理の發育と其の言語との関係(1) 高峰博
- (1) 1月30日(7)  
 ④小路「詩」 井田春水
- ④アラビヤ海の正月 原三郎
- 23日(火)  
 ③婦人の経済上の独立 職業問題の実際方面  
 石本静枝
- ③火事「童話」 荒川浩
- ④予の労農主義(1) 近松秋江(1) 1月26日(3)  
 ④病む秋今は亡き曾祖母を悼み別れし婚約  
 の人へ「詩」(1) 暮路京之助
- (1) 1月24日(2)  
 ⑤上毛が生んだ偉人新島先生の伝記編纂に其  
 半生を捧げた根岸橘三郎氏
- 24日(水)  
 ③木彫の兎「童話」(1) 内山頼四郎
- (1) 2月7日(9)  
 ④近時の婦人問題 産児制限問題離婚問題及  
 妻の財産権問題解決の鍵(1) 山田わか
- (1) 1月27日(3)  
 ④新しい気もちを持つて見た今年の朱葉会  
 登丸玉子
- 26日(金)  
 ④伊豆雑記 与謝野晶子
- ④旅日記「短歌」 原三郎
- 27日(土)  
 ③農村問題に就て(1) 篠原勘十郎
- (1) 2月4日(5)
- ④竜海院の森(児童劇)「戯曲」(1) 館山甲午  
 (1) 2月3日(4)  
 ④ありふれたこと 上田えいじ
- 28日(日)  
 ③過渡期に於ける文化生活 松平俊子
- ③驚の自慢「童話」 小寺菊子
- ③理窟「落語」
- ④二青年の会話 耕人
- ④豚の尻尾 真佐美
- ④峡間拾遺「短歌」 大竹好太郎
- ④除隊「短歌」 松村清
- ④姪の死「短歌」 岡庭郁二
- ④冬休み「短歌」 榎田香保流
- ④騎士遠征、老人と犬と私「詩」 清水房之丞
- ④無藤の歌「詩」 山田静蔚
- ④暗の瞬間「詩」 角田穂二
- ④自分に送る「詩」 藤村伝次郎
- ④一人男の唄、嫌でか辛ろてか、しんじつ此  
 頃「詩」 暮路京之助
- ④辰治「詩」 中村芳太郎
- ④散る紅葉「詩」 萩原正
- 30日(火)  
 ②皇后宮御歌 他
- 31日(水)  
 ④貯金局懸賞一等紫色の豆「童話」 森本信次
- ④選評 小山内薫
- ④寺に住居す 大槻三好

大正12年(1923)2月

1日(木)

④新島先生の教訓 山室軍平

④新春雑詠「短歌」 木村武重

2日(金)

④現代社会と貞操観念(1) 加治時次郎

(〜2月7日(4))

④初春「短歌」 羽鳥露舟

④三国路「短歌」 躬恒南六

4日(日)

③節気に関する常識(1) 山田琢蔵

(〜2月13日(2))

③初凧「詩」 有馬春子

③歯いたみ爺さん「童話」 室生晶子

④憧れの小鳥 清水房之丞

④青春の果て(1) 木村武重 (〜2月6日(2))

④煙突をぬる男「詩」 雨小路毒二

④歯車よ「詩」 大竹好太郎

④寂寥「詩」 傷々花

④死をみつめて「詩」 豊田ひろぶみ

④ひよつと危険だ「詩」 吉野陽

④石つぶて、しのび返しに「詩」 暮路京之助

助

④機械、八木節踊、春が来たとして「詩」 正美

美

④淋しき折に「詩」 小林得江

④雨は降る「詩」 大槻三好

7日(水)

④愛に渴く 徳江亥之助

8日(木)

③ウミ亀の運命「童話」(1) 水上春月

(〜2月14日(4))

④教育の根本問題 先づ義務教育の延長から

山川健次郎

④売笑婦の取締及救済策(1) 生江孝之

(〜2月10日(3))

④歌反古(1) 栖宮耕人

⑤上毛美人伝 尾曳靈験記(1) 水村

(〜2月24日(4))

9日(金)

④男女の交際を自由にし結婚を有意義にした

いものだ 市川源三

④救はるゝといふこと(1) 吉田絃二郎

(〜2月13日(2))

11日(日)

④消費節約の根本(1) 水野錬太郎

(〜2月16日(3))

◇青い玉の天人 林金雀

◇蜜柑(少年小説) 島之郷校 森下重男

14日(水)

④貯金局懸賞二等 大黄山の瑪瑙「童話」 \*

\*\*\* 郎

16日(金)

④童謡、童話、童話劇の本質について(1) 南江二郎

(〜2月17日(2))

④野菊会歌会「短歌」(1) 大沢雅休、粕川重

二、田部井ふく、萩原正志、正木水村、勅

使河原汀星、岡庭郁二、大沢勇、松本つる、

金子嶺月、小暮正美、針谷詩舟、稲葉千代、

小川伊七造、岡庭雅夫、川端刺青、吉川慎

一、梅津周一、貝瀬汎夫、天笠影一、今井

利喜雄、角田雅枝、梨畑花城、栗原つる、

鈴木如友、吉田緑泉

17日(土)

③二人の小旅人(1) 春山緑葉(〜2月22日(3))

④土の文学を高唱して国民性を喚起すべく民

謡詩人等の新らしき企て

④朝鮮人他「綴方」 細井校尋五 真下キク

他 (〜2月22日(3))

④野菊会詠草「短歌」(2) 天田与一、松村俊

郎、角田穂二、相原くめ、松村清、鳩田沐

人、青山初太郎、真下きよし、羽鳥辰之助、

大堀花穂、阿久沢鶴雄、井部むめ、萩原楓

古、掛川碧穂、松本ひさ、砂川李溪、柴崎

千代、大槻三好、藤井はる、神保冷平、小

川菊太郎、磯部景秀

18日(日)

③婦人の体育問題 脚の長い西洋婦人と腕の

長い日本婦人 二階堂トクヨ

③木枯し「童謡」 荒川浩

④萩原朔太郎氏と詩集青猫 中村芳太郎

④寸閑寸感 長島健司

④マリオンの脱獄(一幕劇)「戯曲」 一条恭

二

④冬日の哀愁「詩」 清水房之丞

④春の感傷「短歌」 木村武重

④折にふれ「短歌」 松村清

④宿直「短歌」 神保冷平

④朝「短歌」 梅沢周一

20日(火)

④日本の建国と英国の建国(1) 三宅雄二郎

(〜2月22日(3))

21日(水)

④ダルトン法に就て 欧米に行はれる新教育

の一方(1) 小林澄兄 (〜2月23日(3))

④試験前の当日他「綴方」 磯部校尋六 萩

原実四郎他/空他「童謡」 茂呂校高一

岩田喜一郎他 (〜コドモノクニ)

④野菊会詠草「短歌」(3) 鳥羽菊松、信沢健

次、近藤忠太郎、平石たけを、北爪紅夢、

鈴木茂作、田中方銘、浦野きくえ、堺明平、

田部井かつ、設楽一鶴、山田曲成、木暮茂

登平、岡庭しげ、磯田一郎

22日(木)

④病氣上りの父他「綴方」 大田校尋五 蓮

寿美江他 (〜コドモノクニ)

④対話歌劇怠ける者の国「戯曲」(1) 横田桃

水 (〜2月27日(3))

④野菊会詠草「短歌」(4) 上田兼吉、松原琴

治、千輝弘子、倉林民治、金井きみ子、木

村武重、中田秋二、萩原友明、二階堂紅葩、

森谷吉郎、小野草穂、横山毛登子、中里星

江、若林晴雄

23日(金)

②農村の救済問題(1) 桑島定助(談)

(〜3月4日(9)まで確認)

③切支丹娘「童話」(1) 大木雄三

(〜3月8日(7))

④現代文化の矛盾 与謝野晶子

④雛祭は女らしき気分を養ふ為めにです 吉

井錦陵

④ぼくの弟他「綴方」 細井校尋五 三品三

郎他/春の朝他「童謡」 新里校高一 星

野今朝三他 (〜コドモノクニ)

④野菊会詠草「短歌」(5) 長岡草露、茜愁葉、

田嶋夕陽、相沢秋虹、平塚忘路、春山のぶ、

木村春子、鈴木葦舟、須藤春子、藤金平治、

小坂橋市理、金子信三郎、田口喜一郎、福

本森幸、角田武義、伊藤鈴子、天野利雄、

金子てる、柘樋与一郎、藤井伝次郎、豊田

宏文、久保田瓜丁

24日(土)

④青年諸卿に与ふ 現下の農村社会運動とル

ネツサンス(1) 阪本利郷 (〜3月28日(3))

④死の脅威 与謝野晶子

④星の行方他「綴方」 久留万高一 大淵修

他 (〜コドモノクニ)

27日(火)

③舞踏の本質 舞踊化した近頃の舞踏 二階

堂トクヨ

③お雛様「童謡」 ミツイ子

③人まねひよっこ「童話」 伊東英子

④農村問題の郷土的的研究 偉人塩原太助の生

地新治村(1) 田村周鸞 (〜3月24日(13))

④秋晴他「綴方」 大田校尋四 塚越百合子

他 (〜コドモノクニ)

④土と光社詠草「短歌」 天笠大録、山岡連

喜知、藤田日出雄、吉田緑泉、大槻三好、

金子信三郎、田部井福子、近藤忠太郎、真

下実、牧千枝、薫放、坂本

28日(水)

④雛祭と雛人形(1) 西沢笛歌(〜3月2日(3))

④内へかへつてから他「綴方」 細井校尋四

設楽ヤス他 (〜コドモノクニ)

④友を迎へて「短歌」 野口市郎

④小作問題漫語録(1) 栖宮耕人

(〜3月2日(2))

大正12年(1923) 3月

1日(木)

④ぼうずぎ他「童謡」 中郷校尋五 後藤ミ

サヲ他 (〜コドモノクニ)

④相見の日「短歌」 亜良木茂

3日(土)

④ぼくのけうだい「綴方」 敷島校尋二 六本

木英治/天気雨他「童謡」 新里校尋六 岩

崎静雄他 (〜コドモノクニ)

⑤案外容易に受けられる女子中等教育 丹沢

前橋高女校長(談)

4日(日)

③お猿「童謡」 荒川浩

③オルフェューズ物語「童話」 小谷正二郎

④愚者漫語 角田耕人

④憧れの小鳥を読んで 李代

④簪の思出 羽鳥健男

- ④妹に与ふ N  
 ④春のお山、松露、ぜんまい「童謡」 春路  
 京之助  
 ④神経病者の散歩「詩」 吉野陽  
 ④初春の夜「詩」 春踏  
 ④春の光「詩」 草三野  
 ④無限の銘「詩」 上田えいじ  
 ④冬日小曲 湖辺画賛、あられ、かげろうの父  
 「詩」 をざわ四五良  
 ④冬の仕事「短歌」 野口市郎  
 ④運命「短歌」 冷平  
 ④心淋し「短歌」 柳沢千弘  
 ④山峡詠草「短歌」 松村清  
 ④兵営にて「短歌」 山田七郎  
 7日(水)  
 ④十八世紀の仏国と現代の日本(1) 五来素川  
 (〜3月8日(2))  
 ④都市時調 病感的なる日暮、夜の群像「詩」  
 上田えいじ  
 ④お母さん達ちは子供の観察に御注意下さい  
 戸川秀子  
 ④私のお母さん「綴方」 敷島校尋三 柴田は  
 ま／てまりつき 他「童謡」 時沢校尋六 下  
 田とめ 他 (〜3月14日(3))  
 8日(木)  
 ④家庭に於ける能率と虚栄心 野上俊夫  
 ④法と貞操 現行の法律を改正せねばならぬ  
 諸点大目的は貞操と恥羞観念との保護(1)  
 布施辰治(談)
- ④徒然抄「短歌」 中内出薫  
 ④白樺「短歌」 仲野まこと  
 ④わらび「詩」 暮路京之助  
 ④雪の花「詩」 萩原正  
 ④如月の貢「短歌」 茂木紅楓  
 9日(金)  
 ④貯金局懸賞一等びつこの松虫「童話」 中  
 瀬源太郎  
 11日(日)  
 ③上京学生の不良化を防ぐにはどうするがよ  
 いか 遠藤与年吉  
 ③ヒヤシンス物語「童話」 久保田かね子  
 ④船出の前に憧憬のうちに、船出を控へて  
 「詩」 戸井田吉夫  
 ④取り残された宝玉、たった一つの種、これ  
 が教育だ「詩」 大竹好太郎  
 ④雨中の桐「詩」 清水房之丞  
 ④試作 山の煙、あけび、ひよどり、山の鳥、  
 そば、狐の巣、山の小川、いもほり「詩」  
 冷平  
 ④早春序曲「詩」 佐々木訓政  
 ④路次を彷徨する、小曲、幸福、夜列車「詩」  
 吉野軍也  
 ④春の昼「詩」 草三郎  
 ④春の目覚め「短歌」 篠原隆子  
 ④早春煙雨、松の丘にて「短歌」 大槻三好  
 ④春来る「短歌」 豊田宏文  
 ④兵営余塵「短歌」 角田穂二  
 ④父の旅立ちて、父帰る「短歌」 真下きよ
- ④破れ障子「短歌」 鈴木葦舟  
 ④裸樹「短歌」 梅沢周一  
 ④独り者「短歌」 羽鳥健男  
 ④正月の歌「短歌」 野口市郎  
 ④新生活「短歌」 山田七郎  
 ④冬の花 他「綴方」 茂呂校高一 鈴木幸作  
 他／ふゆ 他「童謡」 上川淵尋四 川和梅  
 雄 他 (〜3月15日(3))  
 12日(月)  
 ②印度文化と日本文化(1) 武田豊四郎(述)  
 13日(火)  
 ③蛙の眼玉「童話」(1) 春野青葉  
 (〜3月14日(2))  
 ④実行の勇氣に乏しい我国の婦人(1) 伊藤博  
 邦 (〜3月16日(3))  
 ④勿忘草「詩」 けんじ  
 ④偉大なる太陽「詩」 木村紫陽花  
 ④石「詩」 仲野まこと  
 14日(水)  
 ④秋の夜「綴方」 敷島校尋三 徳永十四男／  
 雪 他「童謡」 中郷校尋五 轟重平 他  
 (〜3月16日(3))  
 ④牧羊場の馬車「詩」 吉野陽  
 ④君と歩いた「詩」 亜良木茂  
 16日(金)  
 ④おはまさんに「詩」 けんじ  
 ④公娼制度 斯る奴隷制度は断然撤廃を主張

する今日は進んで実行の時代(1) 山室軍平  
〔談〕 (～3月21日(3))

17日(土)

④婦人の職業問題を理解せよ(1) 安部磯雄

(～3月21日(2))

④大人中心になつた最近の童謡と自由画

④小道に迷ふ、赤城山〔詩〕 中内出晩秋

18日(日)

◇お伽の森(童話劇) 伊勢崎校尋五 斉藤良

輔

21日(水)

③家庭の音楽的教養 生活を醇化しようとする

るお母さんがたへ 弘田竜太郎

③赤髯の物もち〔童話〕 森浩太郎

④かわいゝ子犬他〔綴方〕 八幡校尋六 川

鍋二三枝他／ダルマ他〔童謡〕 敷島校

尋一 高田雄茂 他 (～コドモノクニ)

22日(木)

③ペンギン王様〔童話〕(1) 内山頼四郎

(～4月11日(8))

③上毛短歌会詠草 本社文芸部主催三月廿二

日開会〔短歌〕

④労働争議から見た工業経営と心理学の研究

(1) 高垣寅次郎 (～3月24日(2))

④文学と社会相(1) 大木雄三(～3月24日(3))

24日(土)

④頻々として起る凌辱事件 獣性を露骨に発

揮する男に対する婦女子の覚悟に就て(1)

山田わか

(～1)まで確認

④雨のふる夜他〔童謡〕 同 山口一女他／

〔短歌〕 島之郷高一 天笠一郎 他

(～コドモノクニ)

27日(火)

③私の二輪車 河村いはほ

④青年に与ふ(1) 東宮七男 (～3月31日(4))

④肉体の発達して行く若き人々に 思春期の

子女と之れに対する性的教育 サンガー

(～4月3日(4))

④有色人種排斥の本場 南アフリカを旅行し

た土産話を紹介(1) 志賀重昂

(～4月6日(4))

28日(水)

④教員のうわ語(1) 高井 (～4月7日(6))

④リング 敷島校尋一 浜信男

29日(木)

③名士訪問印象記 後藤さんの塩原多助観

田村周鸞

※本調査は、平成十六年度群馬県立女子  
大学特定教育・研究費によつて行つてゐる。